

別添 1

総合管理システムとの連携に関する要件
(受入分別処理工事)

目次

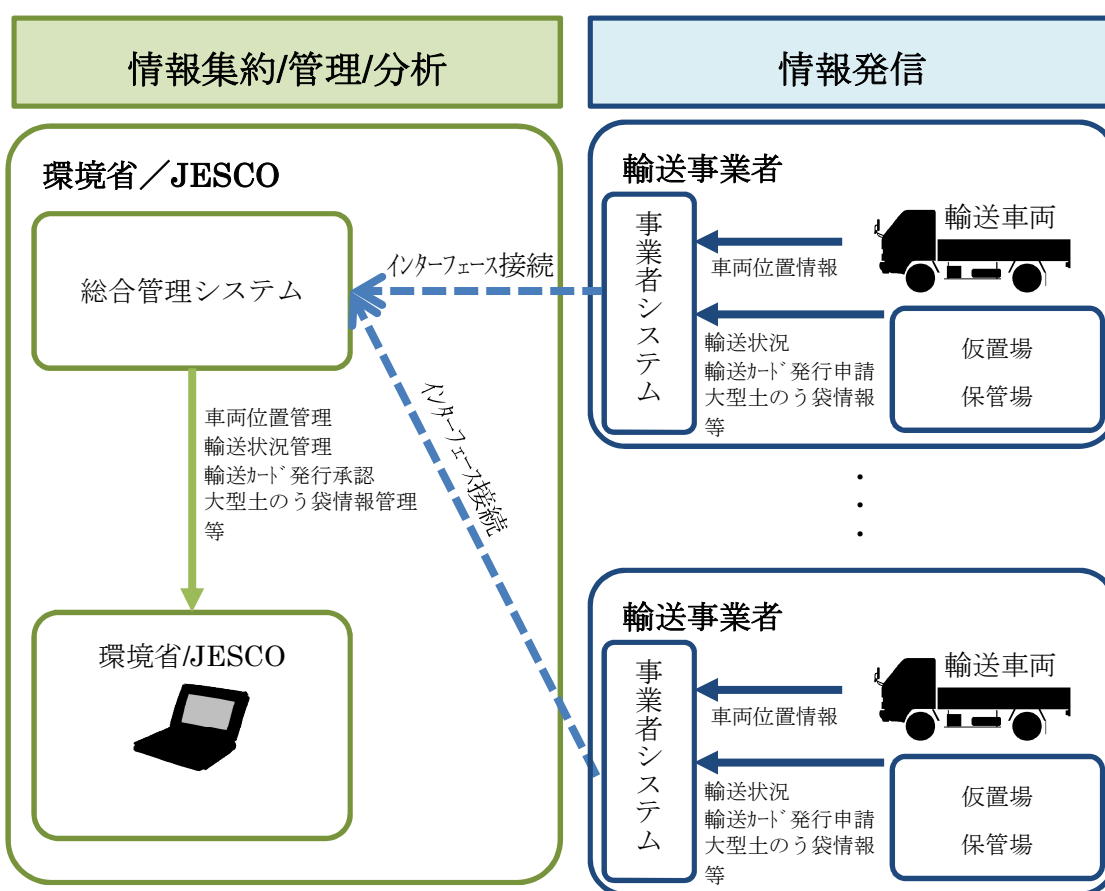
第1 本書の位置づけ	1
第2 総合管理システムについて	2
1 トレーサビリティの確保	2
2 被ばく情報の集約	2
3 モニタリング情報の集約	2
第3 機能要件	3
1 総合管理システムと事業者システムとの連携に関する要件	3
2 トレーサビリティ	3
3 被ばく情報の集約	3
4 モニタリング情報の集約	3
第4 非機能要件	4
1 総合管理システムのサービス提供時間	4
2 バックアップに関する要件	4
3 情報セキュリティに関する要件	4
4 狭帯域、携帯不感地域への対策	8
5 事業者システム障害発生時の対応	8
6 総合管理システム障害発生時の対応	8
7 中間貯蔵管理センターからの通知メールの受信	8
8 輸送開始までに必要な準備	9
9 事業者システムと総合管理システムとの接続仕様	9
10 連携テストに関する要件	11
11 テストラン	12
12 教育に関する要件	13
13 システム運用に関する要件	13
14 システム保守に関する要件	14
第5 別紙一覧	15

第1 本書の位置づけ

中間貯蔵・環境安全事業株式会社では、環境省が策定した「中間貯蔵施設への除去土壌等の輸送に係る基本計画」等を踏まえ、中間貯蔵施設への除染土壌等の輸送等を管理するためのシステム（以下「総合管理システム」という。）を構築した。

総合管理システムは、輸送を担う複数の事業者が取得する輸送車両の走行位置、輸送対象物の情報等を一元的に管理する構成としており、各事業者との円滑なデータ連携が必要不可欠となる（下図参照）。

本書は、総合管理システムとの円滑な連携を実現するための、事業者システムに求める要件を記載したものである。



第2 総合管理システムについて

総合管理システムは、事業者システムから情報を取得することで、下記の3点を実現する。

1 トレーサビリティの確保

a) 搬出から搬入・定置までの全数管理

福島県内の仮置場等に保管された除去土壌等を仮置場から搬出し、中間貯蔵施設の保管場に搬入・定置するまでの間、大型土のう袋等を1個単位で把握する（ただし、輸送時については、b)のとおりとする）。

b) 輸送の管理

除去土壌等を輸送する車両の位置と輸送物について、地図データ等に表示し、関係機関と共有しつつ、常時把握する。

2 被ばく情報の集約

事業者等が管理する作業員等の被ばく線量の情報について、「除染等業務従事者等被ばく線量登録管理制度」に登録する情報や、各作業員の作業場所等の情報を集約する。

3 モニタリング情報の集約

空間線量率、大気中の放射性物質濃度、地下水中の放射性物質濃度等のモニタリングの情報(事業者が実施するものも含む)を集約する。

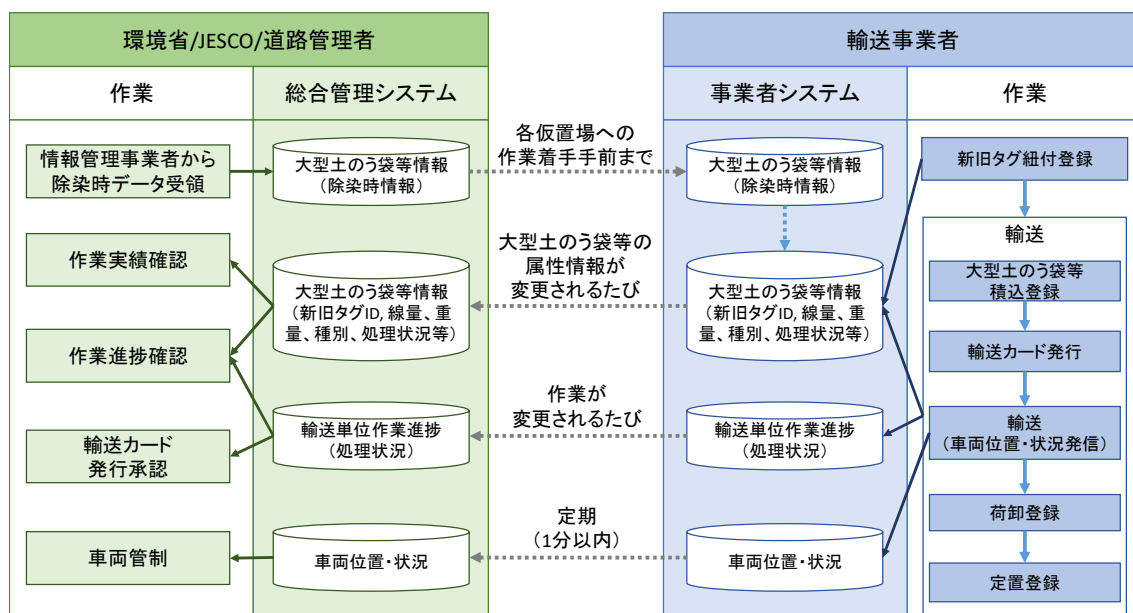
第3 機能要件

1 総合管理システムと事業者システムとの連携に関する要件

総合管理システム、事業者システム間でのデータ送受信に関する要件を、別紙2「インターフェース仕様書」に示す。こちらに示されたインターフェースの送受信がすべて実施できるようにすること。

2 トレーサビリティ

トレーサビリティに関連し、総合管理システムと事業者システムとの連携イメージを下図に示す。また、総合管理システムとの連携で求められる事業者システムへの機能要件を、別紙1「機能要件一覧（トレーサビリティ）」に示す。一覧に示される機能をすべて有すること。



3 被ばく情報の集約

別紙2「インターフェース仕様書」にて定義された、被ばく情報に関する各種情報を送信できる機能または体制を有すること。

4 モニタリング情報の集約

別紙2「インターフェース仕様書」にて定義された、モニタリングに関する各種情報を送信できる機能または体制を有すること。

第4 非機能要件

1 総合管理システムのサービス提供時間

総合管理システムのサービス提供時間（利用者がシステムを利用可能な時間）は原則 365 日 7:00～22:00 とする。

インターフェースの送受信および、総合管理システムへの操作は上記時間帯に実施すること。

2 バックアップに関する要件

総合管理システムとの連携に必要なデータは、日次でバックアップを取り、2 ヶ月間保存すること。

3 情報セキュリティに関する要件

総合管理システムが満たす情報セキュリティ要件を下記表に示す。事業者システムのセキュリティレベルもこちらに準拠すること。

情報セキュリティ対策に関する要件

No.	情報セキュリティ対策	対策に係る要件
1	製品選定	<ul style="list-style-type: none">ISO/IEC15408 情報技術セキュリティ評価基準の認定を受けている製品を優先して採用すること。設計する技術方式は、実績を十分に備えたものを採用することを原則とする。ただし、新技術方式を採用することを否定するものではなく、新技術を採用する際には、十分な検証が行われていることを発注者に説明し、その指示に従うこと。本システムの試験稼働時点で必要な機能の組み込みに加えて、稼働期間全体に渡っての継続的な更新（最新かつ実証済みのセキュリティパッチ等を遅滞なく取り込む等）のための仕組みを実現するよう計画すること。
2	ウイルス／マルウェア対策	<ul style="list-style-type: none">本システムに係るサーバ及び機器等には、ウイルス／マルウェア対策ソフトウェアを導入し、想定される不正プログラムの感染経路の全てにおいて、その検知及び除去が可能となる設計とすること。なお、当該対策ソフトウェアの設定（定時スキャンの実施時間の設定等）を容易に、かつ一括で変更できる仕組みを検討し、ウイルスチェックパターンファイルの更新状況及びウイルス被害状況を確認できる環境を整備する設計とすること。
3	アクセス管理	<ul style="list-style-type: none">本システムでは、システム及びその保持する情報に対するアクセス証跡を取得及び保管可能な設計とし、必要に応じて確認が可能とすること。システム内の不正行為や不正通信を感知する仕組みを検討すること。取得したアクセスログ等の保存期間はサービス提供期間中保持すること。

No.	情報セキュリティ対策	対策に係る要件
4	構築時の対策	<ul style="list-style-type: none"> • 本システム構築時には、セキュアコーディング（ソースコードに脆弱性が含まれないように実施するプログラミング方法）による開発や、Web サーバの設定等によるセキュリティ対策の強化が実施可能となるよう設計すること。設計に際しては、独立行政法人情報処理推進機構が公表している「安全なウェブサイトの作り方」を参考とすること。 • 本システム構築時には、情報セキュリティの観点に基づくテストを実施すること。 • 開発環境についても必要な情報セキュリティ対策を施すこと。
5	基準・ポリシー等の準拠	<ul style="list-style-type: none"> • 情報セキュリティ対策実施にあたり、受注者は以下の基準・ポリシー等に準拠し、下記規程等に定められた情報セキュリティ手順等に準拠すること。なお、準拠する規定等は本業務実施時に公開されている最新版とする。 <ul style="list-style-type: none"> ✓ 環境省情報セキュリティポリシー ✓ 政府機関の情報セキュリティのための統一基準 • 上記の規程等が変更になった場合には、発注者と協議の上、本システムにおいて必要となる対応を実施すること。
6	ハードウェアの対策	<ul style="list-style-type: none"> • 脆弱性対策として、サーバ及びネットワーク機器等のファームウェアのセキュリティパッチ等の情報を収集し、適用可能な仕組を導入すること。また運用開始前に、脆弱性診断の実施を行い、当該機器上で利用するソフトウェアに関連する公開された脆弱性が発見された場合は適切に対処した上で運用を開始すること。 • 内部利用者の成りすましを防止するため、生体認証機能を利用したハードウェアの導入も検討すること。 • インターネット等を介してデータをやり取りする機器とデータを管理する機器を論理的又は物理的に分離し、内部と外部ネットワークにセグメントを分けること。 • クライアント端末には、外部記憶媒体等への書き込みを禁止するなどの制御する仕組みを設けること。 • 要保護情報を取り扱う端末について、端末の盗難、不正な持ち出し、第三者による不正操作、表示用デバイスの盗み見等の物理的な脅威から保護するための対策を講ずること。またモバイル端末の盗難により第三者により情報窃取されることを防止するための対策を講ずること。 • 端末や機器（実機がある場合サーバ機器を含む）の運用を終了する際には、端末の電磁的記録媒体の全ての情報を抹消すること。実機のない場合も業務に関わる全ての情報を抹消すること。
7	ソフトウェアの対策	<ul style="list-style-type: none"> • OS 及びミドルウェアのセキュアな設定を行うこと（セキュリティパッチの適用、不要サービスの停止、リモートログイン時の管理者権限への昇格禁止等） • 電子メールサーバについては、なりすましや電子メールの不正な中継を行わないように設定し防止策を講ずること。 • 公開情報の動作環境において、セキュリティパッチを迅速かつ確実に適用できるための仕組みを提供すること。 • 公開された脆弱性の有無に関わらず機器設定や構成上で採りうる対策がある場合は、当該対策を実施すること。 • 所管する範囲の端末で利用されている全てのソフトウェアの状態を定期的に調査し、不適切な状態にある端末を検出等した場合には、改善を図ること。 • 多様なソフトウェアを利用することにより脆弱性が存在する可能性が増大することを防止するため、サーバ及び端末で利用を認めるソフトウェア及び利用を禁止するソフトウェアを定めること。また定期的に見直しを行うこと。

No.	情報セキュリティ対策	対策に係る要件
8	ネットワークの対策	<ul style="list-style-type: none"> ネットワーク通信経路は管理され、必要なアクセスだけが許可されるよう設定すること。 ネットワーク通信経路は、IP アドレス及びポート・レベルで許可・閉鎖が設定できること。 リモートアクセスによる保守業務等の接続は、指定されたクライアント PC 及び利用者限定した接続ができること。 ネットワークに関する変更があった際及び定期的に、経路制御及びアクセス制御の設定の見直しを行うこと。 ネットワークに関するセキュリティ水準及びサービスレベルを確保するための措置について検討し、発注者の承認を得ること。 情報セキュリティインシデントによる影響を防止するために、通信回線装置の運用時に必要な措置を講ずること。 ネットワークに関する機器や機器に必要なソフトウェアの状態を定期的に調査し、不適切な状態にあると認識した場合には改善を図ること。 通信回線装置を要管理対策区域に設置すること。ただし、要管理対策区域への設置が困難な場合は、物理的な保護措置を講ずるなどして、第三者による破壊や不正な操作等が行われないようにすること。
9	運用におけるセキュリティイベント対応	<ul style="list-style-type: none"> ファイアウォールが検知する不正アクセス、ウィルス対策ソフトウェアが検知するウィルス感染等、セキュリティイベントが発生した場合、速やかに担当職員に報告し、対処することが可能な仕組みを構築し提供すること。
10	利用者認証・アクセス制御	<ul style="list-style-type: none"> 利用者 ID による認証を行い、認可された利用者だけが本システムに接続することができること。また、当該 ID は、認可されたものであることが判別できること。 利用者 ID に応じた適切なアクセス権の設定ができ、定められたアクセス制御を行うこと。 生体認証機能等を含め、複数の認証手段を組み合わせることで利用できること。 管理者権限の特権を悪意ある第三者等によって、不正に窃取された際の被害を最小化するための措置及び、内部からの不正操作や誤操作を防止するための措置を講ずること。
11	ログ管理・監査	<ul style="list-style-type: none"> 管理・監視対象とするログを定義すること。 ログは、保管及び閲覧可能な期間を定め、閲覧可能な期間において常時参照可能な状態を維持すること。 ログは、保管内容の改ざんを防止するための仕組みを導入すること。 情報漏えいの疑義発生時もしくは監査対応時等において、ログ管理機能により過去のアクセス状況を追跡できること。 取得したログを定期的に点検又は分析する機能を設け、受注者が不正侵入や不正アクセスに関する点検、分析を実施できるようにすること。 取得したログ等の保存期間はサービス提供期間中保持すること。
12	暗号化	<ul style="list-style-type: none"> 機密情報を送受信する際は、通信経路の暗号化（https 通信、閉域網等）に対応すること。 通信経路の暗号化と OS のログインパスワード等、ソフトウェアが持つ暗号化機能を組み合わせることで適用すること。 秘密情報をデータベース及び調達対象のクライアント端末に保存する際は暗号化を施すこと。 暗号鍵の管理方法については発注者の了解を得ること。 暗号アルゴリズムは、電子政府推奨暗号リストに準拠した製品とすること。

No.	情報セキュリティ対策	対策に係る要件
13	サービス不能攻撃対策	<ul style="list-style-type: none"> • サービス提供に必要なサーバ装置、端末及び通信回線装置が装備している機能又は民間事業者等が提供する手段を用いてサービス不能攻撃への対策を行うこと。 • サービス不能攻撃を受けた場合の影響を最小とする手段を備えた情報システムを構築すること。 • サービス不能攻撃を受けるサーバ装置、端末、通信回線装置又は通信回線から監視対象を特定し、監視すること。
14	標的型攻撃対策	<ul style="list-style-type: none"> • 標的型攻撃による組織内部への侵入を低減する対策（入口対策）を講ずること。 • 内部に侵入した攻撃を早期検知して対処する、侵入範囲の拡大の困難度を上げる、及び外部との不正通信を検知して対処する対策（内部対策）を講ずること。
15	アプリケーション・コンテンツのセキュリティ要件	<ul style="list-style-type: none"> • 不正プログラム及び開発時点で公開されている脆弱性を含まないこと。 • 実行プログラムの形式以外にコンテンツを提供する手段がない限り、実行プログラムの形式でコンテンツを提供しないこと。 • 電子証明書を利用するなど、提供するアプリケーション・コンテンツの改ざん等がなく真正なものであることを確認できる手段がある場合には、それをアプリケーション・コンテンツの提供先に与えること。 • 脆弱性が存在するバージョンのOS やソフトウェア等の利用を強制するなどの情報セキュリティ水準を低下させる設定変更を、利用者に要求することがないように提供方式を定めて開発すること。 • サービス利用者その他の者に関する情報が本人の意思に反して第三者に提供されるなどの機能がアプリケーション・コンテンツに組み込まれることがないよう開発すること。
16	DNS の対策	<ul style="list-style-type: none"> • 要安定情報を取り扱う情報システムの名前解決を提供するDNS のコンテンツサーバにおいて、名前解決を停止させないための措置を講ずること。 • DNS のキャッシュサーバにおいて、名前解決の要求への適切な応答をするための措置を講ずること。 • DNS のコンテンツサーバにおいて、利用者のみで使用する名前の解決を提供する場合、当該情報が外部に漏えいしないための措置を講ずること。 • DNS のコンテンツサーバを複数台設置する場合は、管理するドメインに関する情報についてサーバ間で整合性を維持すること。 • 管理するドメインに関する情報が正確であることを定期的を確認すること。

4 狭帯域、携帯不感地域への対策

対象となる受入分別施設の中には、狭帯域や携帯不感の区域が含まれる場合がある。そのような場合でも、滞りなく携帯端末を用いた業務を遂行できるよう、別手段の通信の確保等の対策を施すこと。

5 事業者システム障害発生時の対応

- 事業者システム障害発生時は、事業者システム復旧後に未送信データを補完できるよう、下記インターフェースを適宜再送すること。

ID	インターフェース名
IFT0120	車両ステータス更新
IFT0140	定置ステータス更新

6 総合管理システム障害発生時の対応

- データ連携については、総合管理システム側の障害の可能性を考慮し、通信エラーに関する処理を実装すること。
- また、総合管理システム復旧後に未送信データを補完できるよう、下記インターフェースを適宜再送すること。

ID	インターフェース名
IFT0120	車両ステータス更新
IFT0140	定置ステータス更新

7 中間貯蔵管理センターからの通知メールの受信

事故等の緊急時の情報や各種通知メール等、中間貯蔵管理センターからのメールを受信するための専用メールアドレスを用意すること。

8 輸送開始までに必要な準備

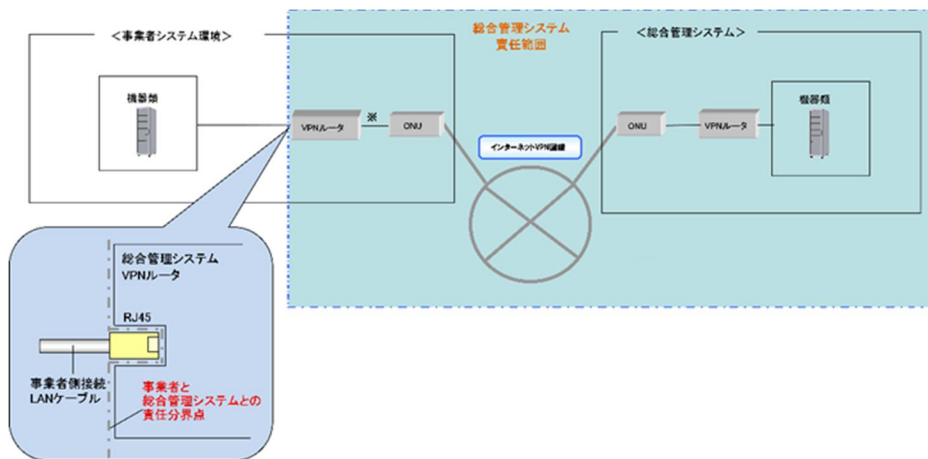
事業者システムと総合管理システムとの連携に関して、輸送開始までに下記の手続を実施すること。

No.	手続名	概要
1	事業者システムと総合管理システム間の回線敷設	事業者システムと総合システム間は、セキュリティおよびトラフィックの観点から VPN（仮想専用線）にて接続を行う。
2	総合管理システムと事業者システムの連携テスト	事業者システムと総合管理システム間でやりとりするインターフェースの送受信のテストを実施する。
3	テストラン	輸送業務全体を模擬的に実施することで、全体の業務が想定通りに推進されるかを確認する。

9 事業者システムと総合管理システムとの接続仕様

a) 接続の概要

総合管理システムとの接続概要を図に示す。



※ケーブルの敷設はサービス提供範囲内
配管工事等(付帯工事)はサービス提供範囲外

- ・ 事業者システムと総合管理システムは、インターネットVPNを用いて接続する。
- ・ 総合管理システムとの通信は、性能を考慮し、DNSを介さず、直接IPアドレスを指定して実施する。
- ・ 総合管理システムへの送付先となる各種IPアドレスを通知するので、通知された情報に従い、接続のためのネットワーク環境を構築すること。

事業者システムからのインターフェース送信元のIPアドレスを、総合管理システ

ム側のファイアウォールへ設定する必要がある。上記設定のため、送信元サーバの IP アドレスに関する情報を、提供すること。

b) サービス仕様

インターネット VPN 回線および機器類の仕様を以下に示す。

(ア) 回線仕様

No.	項目	仕様
1	回線 (製品名)	インターネット VPN 回線 (NEC Clovernet Standard + UCOM 光アクセス回線)
2	品目 (bps)	事業者、JESCO : 10Mbps 帯域保証アクセス

(イ) VPN ルータ仕様

No.	項目	仕様
1	VPN ルータ製品名	UNIVERGE IX2105
2	暗号化方式	IPsec・IKE メインモード設定済
3	アルゴリズム	暗号アルゴリズム: AES256bit/認証アルゴリズム: SHA-2
4	インターフェース	イーサネット 10/100/1000BASE-T ×5 ポート (うち4ポートはスイッチングハブ)
5	外形寸法 (W×D×H)	135×196×36 (ゴム足含む)
6	消費電力	消費電力 14VA (7W) 以下
7	搭載方法	19 インチラック取付棚 1U3 (付属) によるラック取り付け又は平置き

(ウ) ONU 仕様

No.	項目	仕様
1	外形寸法 (W×D×H)	120×178×40
2	消費電力	消費電力 14VA (7W) 以下
3	搭載方法	平置き

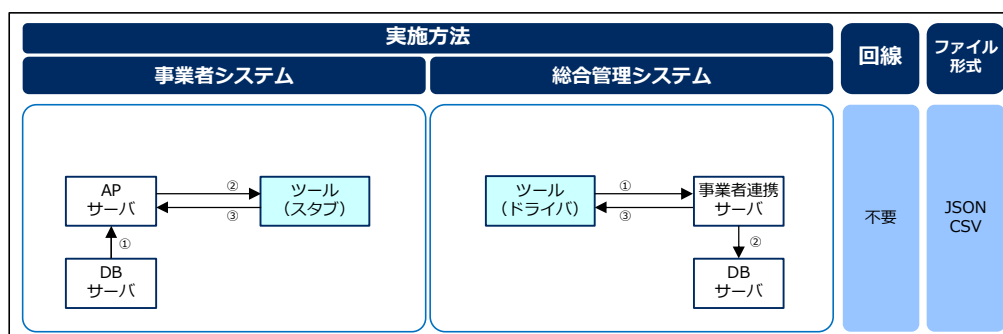
10 連携テストに関する要件

輸送業務を開始する前に、総合管理システムと事業者システムとの連携試験を実施すること。試験の概要は下記の通り。

a) ステップ1：ツールを利用した機能確認

実際にシステム連携した際に、インターフェース齟齬以外でテストが止まらないよう、双方のシステムでツールを使って一気通貫のテストを実施する。

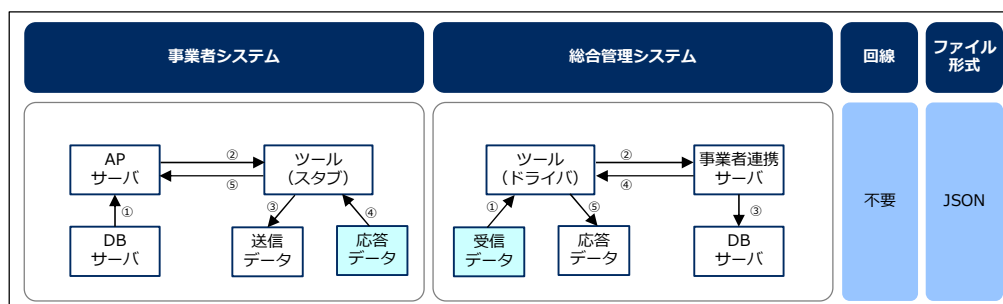
機能追加等におけるリグレッションテストなどを実施する際に、双方個別で試験できる環境を整備する。



b) ステップ2：CSVを利用した静的連携テスト

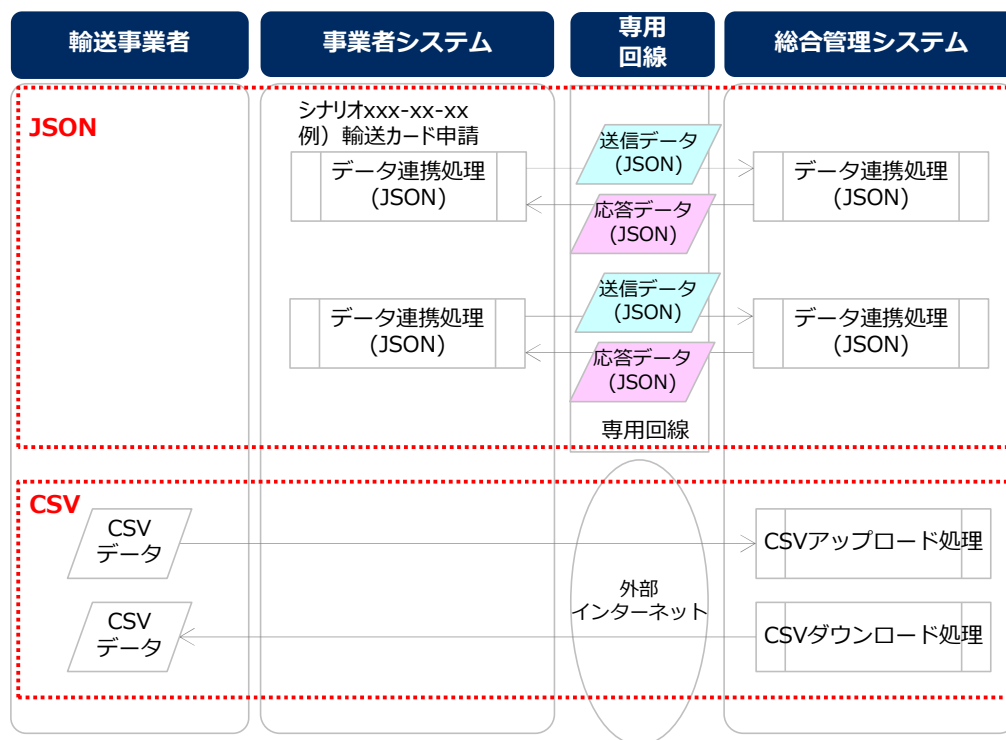
相互に連携するデータを提供することによって、静的な連携試験を実施する。

事業者システム側、総合管理システム側双方に外部インターフェースの認識齟齬が無いかを確認する。



c) ステップ3：動的連携テスト

ネットワークの疎通確認を実施すると共に、本番稼働を想定したシステム間連携テストを実施する。



1.1 テストラン

輸送業務全体が滞りなく実施できることを確認するため、下記を実施する。なお、各テストラン実施後に、実施結果を提出すること。

No.	実施内容	概要
1	テストラン①	事業者システム（ハンディ、車載機含む）と総合管理システムを結合した状態で、手順どおり業務が実施できることを確認する。
2	テストラン②	現地作業者が輸送業務を滞りなく実施できることを確認する。 現地作業者の作業習熟（教育）を兼ねる。

1.2 教育に関する要件

a) 教育資料の作成

事業者システムを利用する一般利用者、システム管理者、運用担当者やヘルプデスク担当者等に対して、導入研修をするための教育資料を作成すること。

b) 教育の実施

事業者システムの利用者が、安全かつ円滑にシステムを利用できるよう、十分な教育を実施すること。

(ア) 担当者への教育

事業者システムを主として利用する、一般利用者、システム管理者、運用担当者やヘルプデスク担当者等に対する教育の実施

(イ) 環境省および JESCO への教育

総合管理システム障害発生時に臨時で利用する環境省および JESCO 担当者に対する教育の実施

1.3 システム運用に関する要件

a) システム運用業務

(ア) システム稼働における運用業務

マスタデータの更新等、事業者システム稼働に伴うシステム操作やデータメンテナンスを適宜実施すること。

(イ) システム稼働における監視業務

事業者システムが安定的に正常稼働していることを保証するために、機器や回線の死活監視等の監視業務を実施すること。

システム障害が発生した際は、速やかにその復旧作業を実施すること。

(ウ) データ修正業務

通信環境、オペレーションミス等によるデータの誤りが発覚した場合は、速やかに正しいデータに修正すること。

b) ヘルプデスク業務

システム利用者からの問い合わせに対するヘルプデスク業務を実施すること。

受付及び対応時間は土曜日及び日曜日を除く月曜日から金曜日（祝日を含む）にて 8 時間とする。ただし、時間外就労の計画がある場合は事前協議により対応を延長可

能なこと。

1.4 システム保守に関する要件

a) データバックアップ

「第4 非機能要件 3 バックアップに関する要件」を満たすようデータバックアップ業務を実施すること。

b) セキュリティ対策

「第4 非機能要件 4 情報セキュリティに関する要件」を満たすよう、重大なセキュリティ問題が発生した場合は、速やかに対策を実施すること。

c) ハードウェア保守

利用しているハードウェアが故障した際に、輸送業務が円滑に継続できるよう適宜ハードウェア修理・交換等の保守対応を実施すること。

d) ソフトウェア保守

利用しているソフトウェアおよびアプリケーションプログラムが安定稼働するよう、適宜ソフトウェア保守を実施すること。

第5 別紙一覧

- 別紙 1 機能要件一覧（トレーサビリティ）
- 別紙 2 インターフェース仕様書
- 別紙 3 輸送カード様式の説明

別紙1 機能要件一覧 (トレーサビリティ)

機能ID	機能分類	機能名	機能概要
JT01-0051	事前準備	他事業者車両の受入 (輻輳対応)	<ul style="list-style-type: none"> ・ (必要に応じて) 総合管理システムより他事業者の車両データ及び、運転手データを取得し、自施設への他事業者の車両受け入れを可能にする。 ・ 対象のデータは下記の通り (詳細は、別添1_別紙2_インターフェース仕様書を参照)。 <ul style="list-style-type: none"> ・ IFT0620 (車両データ出力) ・ IFT0630 (運転手マスタ出力)
JT01-0192	輸送状況管理	輸送カード情報問い合わせのためのキーコードの取得 (輻輳対応)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 輸送カードに印字されているQRコードを読み取り、当該車両の輸送カード情報を取得するためのキーコードである「事業者ID」及び「輸送カード番号」を取得する。
JT01-0193	輸送状況管理	受入登録のための輸送カード情報の取得 (輻輳対応)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 事業者ID、輸送カード番号をキーに、総合管理システムへ問い合わせのI/F (IFT0640: 輸送カード情報連携) を送信し、総合管理システムから受入登録に必要となる輸送カード情報を取得する。 ※QRコードの読取りができない場合には、運転手の携帯する輸送カードから目視確認した「事業者ID」及び「輸送カード番号」にてマニュアルで問い合わせを行うこと ・ データの詳細は、別添1_別紙2_インターフェース仕様書を参照。
JT01-0199	輸送状況管理	受入登録とステータスの送信	<ul style="list-style-type: none"> ・ 輸送車両の荷台にある除去土壌等の情報 (新タグID) を読み取る。 ・ 読み取った情報と輸送カードの明細に差異が無いことを確認後、総合管理システムへ「施設受入」の輸送ステータスを送信する。 ※輻輳時には、「施設受入 (輻輳)」の輸送ステータスを送信し (IFT0120: 車両ステータス更新)、輸送事業者の事業者IDを送信する ・ 受入登録とともに、ダミー定置情報を総合管理システムへ送信する。 ※情報の整合性を保つため、受入・分別施設、または、一時保管場への直接搬送を示すダミーの定置情報を事業者システムから総合管理システムへ送信する (IFT0140: 定置ステータス更新) ※ダミーの定置情報送信時は定置場ID項目に受入した各受入・分別施設、または、一時保管場に対応した定置場IDを登録する

別紙2 インターフェース仕様書

1. インターフェース一覧

No.	サブシステム	外部IF-ID	外部IF名	連携先	頻度	連携方式					説明
						種類	接続方式	データ形式	改行	文字コード	
7	トレーサビリティ	IFT0120	車両ステータス更新	各事業者	随時	API	HTTP	JSON	-	UTF-8	車両ステータスの送信
9	トレーサビリティ	IFT0140	定置ステータス更新	各事業者	随時	API	HTTP	JSON	-	UTF-8	定置ステータスの送信
21	トレーサビリティ	IFT0620	車両データ出力	各事業者	随時	Web画面(DL)	HTTPS	CSV	CRLF	SJIS	車両データの出力
22	トレーサビリティ	IFT0630	運転手マスタ出力	各事業者	随時	Web画面(DL)	HTTPS	CSV	CRLF	SJIS	運転手マスタの出力
23	トレーサビリティ	IFT0640	輸送カード情報連携	各事業者	随時	API	HTTP	JSON	-	UTF-8	輸送カード情報の取得
25	被ばく情報	IFR0010	日次報告データ取込	各事業者	週次	Web画面(UP)	HTTPS	CSV	CRLF	SJIS	被ばく情報の日次報告データの取込
26	被ばく情報	IFR0020	月次報告データ取込	各事業者	月次	Web画面(UP)	HTTPS	CSV	CRLF	SJIS	被ばく情報の月次報告データの取込
27	被ばく情報	IFR0030	3ヶ月累積データ取込	各事業者	月次	Web画面(UP)	HTTPS	CSV	CRLF	SJIS	被ばく情報の3ヶ月累積データの取込
28	被ばく情報	IFR0040	四半期累積データ取込	各事業者	四半期	Web画面(UP)	HTTPS	CSV	CRLF	SJIS	被ばく情報の四半期累積データの取込
29	被ばく情報	IFR0050	作業員データ取込	各事業者	月次	Web画面(UP)	HTTPS	CSV	CRLF	SJIS	作業員の被ばく歴、講習受講日等の取込
30	モニタリング	IFM0020	空間線量率(手動)取込	各事業者	日次	Web画面(UP)	HTTPS	CSV	CRLF	SJIS	空間線量率(手動測定)の測定結果の取込
31	モニタリング	IFM0050	地下水中放射性物質濃度取込	各事業者	週次	Web画面(UP)	HTTPS	CSV	CRLF	SJIS	地下水中放射性物質濃度の測定結果の取込
32	共通	IFC0010	CSV連携エラー情報出力	各事業者	随時	Web画面(DL)	HTTPS	CSV	CRLF	SJIS	連携時のエラー情報の出力

2. インターフェース詳細

インターフェースID	インターフェース名
IFT0120	車両ステータス更新

受入分別施設搬入または一時保管場定置の場合

機能概要
<p>車両毎の業務状況を示すデータを受信して更新する。 以下のステータス変更時にチェックを行う。</p> <p>①輸送予定と一致していない場合には、応答にてアラートの情報が設定され返却される。 ・輸送開始: 車両と運転手の組み合わせチェック(1巡回) ・積込開始: 車両と運転手の組み合わせチェック</p> <p>②輸送カードに記載されている新タグID分、全てが施設受入(輻輳無)または一時保管場荷下ろし(輻輳無)できない場合、応答にてアラートの情報が設定され返却される。 ・施設受入(輻輳無)／一時保管場荷下ろし(輻輳無): 荷下ろし全量完了のチェック</p> <p>③輸送カードに記載されている新タグID分、全てが施設受入(輻輳有)または一時保管場荷下ろし(輻輳有)できない場合、応答にてアラートの情報が設定され返却される。 ・施設受入(輻輳有)／一時保管場荷下ろし(輻輳有): 荷下ろし全量完了のチェック</p> <p>④輸送カードに登録された受入・分別施設と到着した施設が一致していない場合、応答にてアラートの情報が設定され返却される。 ・施設受入(輻輳有)／一時保管場荷下ろし(輻輳有): 施設受入時施設整合チェック</p> <p>⑤次の輸送が予定されている輸送車両が輸送終了のステータスを送信してきた場合、応答にてアラートの情報が設定され返却される。 ・輸送終了: ログオフチェック(ログオフ誤り)</p>

前提条件
主キー: 事業者ID、送信ID

区分	No	レベル	データ項目		要素数	データ例	データ形式						項目説明		
			論理名	物理名			必須	種類	サイズ(下限)	サイズ(上限)	範囲(下限)	範囲(上限)		コードID	
要求	1	01	事業者ID	comId	1	JV0000000000000000001	○	半角英数字	-	20	-	-	-	要求した事業者となる。輸送ステータス区分が「施設受入(輻輳有)／一時保管場荷下ろし(輻輳有)」の場合、受入事業者のID。	
	2	01	車両ステータス明細	dtl	1~n	-	○	配列	-	-	-	-	-	車両毎に明細が作成される。	
	3	02	変更区分	chgKnd	1	I	○	半角英字	-	-	-	-	CC0002	総合管理システムにて、車両情報の登録、更新、削除を制御するのに使用する。 ※I:新規登録、U:更新、D:削除	
	4	02	送信ID	sndId	1	01234567890123456789	○	半角英数字	-	20	-	-	-	-	連携対象データを特定するID。
	5	02	車両ID	vcId	1	12345678901234567890	○	半角英数字	-	20	-	-	-	-	車両を特定するID。

別紙2 インターフェース仕様書

区分	No	レベル	データ項目		要素数	データ例	データ形式						項目説明	
			論理名	物理名			必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)		コードID
	6	02	輸送カード番号	crdNo	1	d123456789012d	△	半角英数字	-	20	-	-	-	輸送情報を特定するID。 ※輸送ステータス区分が「輸送カード発行済み」以降のステータス時は必須項目となる。
	7	02	運転手ID	drvId	1	DV000000000000000001	○	半角英数字	-	20	-	-	-	運転手を特定するID。
	8	02	輸送ステータス区分	trpSttKnd	1	14	○	半角英数字	-	-	-	-	CT0014	車両毎の業務情報を示すステータスとなる。 ※「01:輸送開始」、「02:積込開始」、「14:施設受入(輻輳無)／一時保管場荷下ろし(輻輳無)」、「15:施設受入(輻輳有)／一時保管場荷下ろし(輻輳有)」、「11:スクリーニング完了」、「13:輸送終了」 ※「07:仮置場出発」、「08:保管場到着」は位置情報をもとに総合管理システムにて設定されるため、送信不要。 ※2回転する場合など、複数回の輸送がある場合、最終回の輸送のみ「13:輸送終了」を送信する。 ※受入分別施設にて受入を実施した際、「14:施設受入(輻輳無)／一時保管場荷下ろし(輻輳無)」を送信する。 ※受入分別施設搬入(輻輳)の場合、受入分別施設にて受入を実施した際、「15:施設受入(輻輳有)／一時保管場荷下ろし(輻輳有)」を送信する。 ※一時保管場荷下ろしの場合、一時保管場にて荷下ろしを実施した際、「14:施設受入(輻輳無)／一時保管場荷下ろし(輻輳無)」を送信する。 ※一時保管場荷下ろし(輻輳)の場合、一時保管場にて荷下ろしを実施した際、「15:施設受入(輻輳有)／一時保管場荷下ろし(輻輳有)」を送信する。
	9	02	輸送ステータス変更日時	trpSttChgDt	1	2015/04/10 12:02:12	○	日時	-	-	-	-	-	輸送ステータス区分が変更された日時。

別紙2 インターフェース仕様書

区分	No	レベル	データ項目		要素数	データ例	データ形式						項目説明		
			論理名	物理名			必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)		コードID	
	10	02	中間貯蔵施設到着時 車両重量	vcIWt	1	8500		半角数値	-	6.0	0.0	-	-	-	単位: dddddd(kg) ※2018年4月1日から、本項目は未使用になるため、NULLを固定でセットするか、項目自体を削除する
	11	02	荷降ろした大型土の う袋等明細	unLgSdBgDtI	0~n	-	△	配列	-	-	-	-	-	-	輸送ステータス区分が「施設受入(輻輳無)／一時保管場荷下ろし(輻輳無)」、「施設受入(輻輳有)／一時保管場荷下ろし(輻輳有)」の場合のみ必須となる項目。
	12	03	新タグID	newTagId	1	a327000000043378a	○	半角英数字	-	20	-	-	-	-	
	13	02	スクリーニング時最大 表面汚染密度	scMaxDen	1	0	△	半角数値	-	6.0	0	-	-	-	単位: dddddd(cpm) 輸送ステータス区分が「スクリーニング完了」の場合のみ必須となる項目。
	14	02	保管場ID	stgLocId	1	A000000000000000001	△	半角英数字	-	20	-	-	-	-	受入先となる場所(保管場)を特定するID 輸送ステータス区分が「施設受入(輻輳有)／一時保管場荷下ろし(輻輳有)」の場合のみ必須とし、「施設受入(輻輳有)／一時保管場荷下ろし(輻輳有)」の場合のみ総合管理システムで使用する。
	15	02	受入・分別施設ID	acpSrtFctId	1	c123d456	△	半角英数字	-	20	-	-	-	-	受入・分別施設を特定するID。 輸送ステータス区分が「施設受入(輻輳有)／一時保管場荷下ろし(輻輳有)」の場合のみ必須とし、「施設受入(輻輳有)／一時保管場荷下ろし(輻輳有)」の場合のみ総合管理システムで使用する。
	16	02	輸送事業者ID	trpComId	1	JV000000000000000001	△	半角英数字	-	20	-	-	-	-	輸送事業者を特定するID。 輸送ステータス区分が「施設受入(輻輳有)／一時保管場荷下ろし(輻輳有)」の場合のみ必須とし、「施設受入(輻輳有)／一時保管場荷下ろし(輻輳有)」の場合のみ総合管理システムで使用する。

別紙2 インターフェース仕様書

区分	No	レベル	データ項目		要素数	データ例	データ形式						項目説明	
			論理名	物理名			必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)		コードID
	17	02	搬出元ID	tmpLocId	1	m543d001	△	半角英数字	-	20	-	-	-	対象となる搬出元のID。 同日、同一車両による複数搬出元からの輸送を行う事業者の場合のみ必須。(同輸送を行わない事業者は、従来通り項目ごと不要)
応答	1	01	ステータスコード	sttCd	1	00	○	半角数字	-	-	-	-	CC0001	インターフェースの連携処理が正常終了したか異常終了したか。 ※異常終了した場合、要求に対するデータ更新は全て取り消しとなる。 00:正常終了 01:異常終了
	2	01	エラーコード	errCd	1	ECJ0001		半角英数字	-	7	-	-	-	ステータスコードが「00」以外は必須。
	3	01	受信日時	rcvDt	1	2015/11/22 13:11:34	○	日時	-	-	-	-	-	リクエストを受信した日時。
	4	01	データ名	datNm	1	車両ステータス	○	全角混在	-	50	-	-	-	連携対象のデータ名。
	5	01	アラート有無	yesNoAlt	1	0	○	半角数字	-	-	-	-	CC0007	0:アラートなし、1:アラートあり
	6	01	アラートデータ明細	altDatDtI	0~n	-		配列	-	-	-	-	-	リクエストされた項目の内、アラート対象と判定されたデータ。
	7	02	車両ID	vcId	1	12345678901234567890		半角英数字	-	20	-	-	-	車両を特定するID。
	8	02	送信ID	sndId	1	01234567890123456789		半角英数字	-	20	-	-	-	アラートデータの送信ID。
	9	02	アラートコード	altCd	1	01		半角数字	-	-	-	-	CC0008	アラートを判別するコード。
	10	01	連携結果コード	itcRstCd	1	0	○	半角数字	-	-	-	-	CC0005	0:異常データ無し、1:異常データ有り
	11	01	正常件数	vlcCnt	1	0	○	半角数値	-	6	0	-	-	正常に取込した件数。
	12	01	異常件数	invCnt	1	0	○	半角数値	-	6	0	-	-	エラーのあった件数。
	13	01	異常データ明細	invDatDtI	0~n	-		配列	-	-	-	-	-	リクエストされた項目の内、入力チェックで異常と判定されたデータ。
	14	02	送信ID	sndId	1	01234567890123456789		半角英数字	-	20	-	-	-	異常データの送信ID。
	15	02	データ項目	datElm	1	dtl[0].vcId		半角文字	-	200	-	-	-	異常データ項目を設定。 階層構造の場合は要素名を「.」で繋げた形式。 異常コードがデータ状況エラーの場合は、特定のエラー項目を指定できない為、項目全体を設定。 例) dtl[0]
16	02	異常コード	invCd	1	01		半角数字	-	-	-	-	CC0006	01:必須エラー、02:サイズエラー、03:範囲エラー、04:書式エラー、05:データ状況エラー(重複データ)、06:データ状況エラー(更新対象無し)、07:データ状況エラー(削除対象無し)	

別紙2 インターフェース仕様書

インターフェースID	インターフェース名
IFT0140	定置ステータス更新

機能概要
<p>輸送した大型土のう袋等を定置した際に、保管場所内の定置場、定置場内の定置区画、定置区画内の段数を受信して登録／更新／削除する。 以下のチェックで異常データと判定した入力データは応答の異常データ明細に設定し、データ登録をスキップする。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・データ項目チェック(「必須」「桁数」「範囲」「書式」「コードID」) ・送信IDと変更区分によるデータ整合性チェック(「重複」「更新対象なし」「削除対象なし」) ・連携されたJSONファイル内に変更区分が「I:登録」でかつ送信IDが一致する連携データが存在する場合 ・要求で指定された定置区画が存在しなかった場合 ・要求で指定された新タグ紐付の情報が未登録の場合 ・要求で指定された区域番号が、定置区画の区域数よりも大きい場合 ・要求で指定された定置区画の区画区分と、新タグIDに紐付いた輸送対象の除去土壌等種別・焼却灰種別が一致しなかった場合

前提条件
主キー:事業者ID、送信ID

区分	No	レベル	データ項目		要素数	データ例	データ形式						項目説明		
			論理名	物理名			必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)		コードID	
要求	1	01	事業者ID	comId	1	JV00000000000000000001	○	半角英数字	-	20	-	-	-	-	要求した事業者となる。
	2	01	保管場ID	stgLocId	1	A00000000000000000001	○	半角英数字	-	20	-	-	-	-	受入先となる場所(保管場)
	3	01	定置日時	styDt	1	2015/10/10 12:12:12	○	日時	-	-	-	-	-	-	定置場に定置した日、また定置ステータスを削除した日時。
	4	01	明細	dtl	1~n	-	○	配列	-	-	-	-	-	-	
	5	02	変更区分	chgKnd	1	I	○	半角英字	-	-	-	-	-	CC0002	総合管理システムにて、定置ステータスの登録、更新、削除を制御するのに使用する。 I:新規登録、U:更新、D:削除
	6	02	送信ID	sndId	1	01234567890123456789	○	半角英数字	-	20	-	-	-	-	連携対象データを特定するID。
	7	02	新タグID	newTagId	1	a327000000043378a	○	半角英数字	-	20	-	-	-	-	総合管理システムにて発行される、土のう袋を特定するID。

別紙2 インターフェース仕様書

区分	No	レベル	データ項目		要素数	データ例	データ形式						項目説明	
			論理名	物理名			必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)		コードID
	8	02	定置場ID	styLocId	1	TEICHI00001	○	半角英数字	-	20	-	-	-	定置場所を特定するID。 ※受入・分別施設、または一時保管場への搬入の場合、ダミーの定置情報を送信する。その際は、本項目には受入・分別施設、または一時保管場に対応した定置場IDをセットする。
	9	02	定置区画ID	stySec	1	sty12345	○	半角英数字	-	20	-	-	-	定置場所内の定置区画(山)を特定するID。
	10	02	区域番号	areNo	1	1	○	半角数字	-	2	1	99	-	定置区画をメッシュで区分けした区域を特定する番号。
	11	02	段数	nos	1	1	○	半角数字	-	2	1	99	-	定置した段数
応答	1	01	ステータスコード	sttCd	1	00	○	半角数字	-	-	-	-	CC0001	インターフェースの処理が正常終了したか異常終了したか。 ※異常終了した場合、要求に対するデータ更新は全て取り消しとなる。 00:正常終了 01:異常終了
	2	01	エラーコード	errCd	1	ECJ0001		半角英数字	-	7	-	-	-	ステータスコードが「00」以外は必須。
	3	01	受信日時	rcvDt	1	2015/11/22 13:11:34	○	日時	-	-	-	-	-	リクエストを受信した日時。
	4	01	データ名	datNm	1	定置ステータス	○	全角混在	-	50	-	-	-	連携対象のデータ名。
	5	01	連携結果コード	itcRstCd	1	0	○	半角数字	-	-	-	-	CC0005	0:異常データ無し、1:異常データ有り
	6	01	正常件数	vldCnt	1	0	○	半角数値	-	6	0	-	-	正常に取込した件数。
	7	01	異常件数	invCnt	1	0	○	半角数値	-	6	0	-	-	エラーのあった件数。
	8	01	異常データ明細	invDatDtl	0~n	-		配列	-	-	-	-	-	リクエストされた項目の内、入力チェックで異常と判定されたデータ。
	9	02	送信ID	sndId	1	01234567890123456789		半角英数字	-	20	-	-	-	異常データの送信ID。
	10	02	データ項目	datElm	1	dtl[0].newTagId		半角文字	-	200	-	-	-	異常データ項目を設定。 階層構造の場合は要素名を「.」で繋げた形式。 異常コードがデータ状況エラーの場合は、特定のエラー項目を指定できない為、項目全体を設定。 例)dtl[0]
	11	02	異常コード	invCd	1	01		半角数字	-	-	-	-	CC0006	01:必須エラー、02:サイズエラー、03:範囲エラー、04:書式エラー、05:データ状況エラー(重複データ)、06:データ状況エラー(更新対象無し)、07:データ状況エラー(削除対象無し)

別紙2 インターフェース仕様書

ファイル インターフェースID		IFT0620			ファイル インターフェース名		車両データ出力					入出力区分	出力
ファイル名		車両データ_作成日時(YYYYMMDD).csv			固定長・XML・CSV		CSV					文字コード	SJIS
No.	レベル	データ項目名	繰返し	データ例	主 キ ー	データ形式						備考	
						必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)		コードID
1	-	事業者ID	1	JV000000000000000001	1	○	半角英数字	-	20	-	-	-	所属する事業者のID
2	-	車両ID	1	VC00000000000000000001	2	○	半角英数字	-	20	-	-	-	車両を特定するID
3	-	車両名称	1	1号車		○	全角混在	-	20	-	-	-	○号車等車両を判断できる名称
4	-	車種	1	10tダンプ		○	全角混在	-	20	-	-	-	車のモデル
5	-	車両番号	1	福島100あ12-34		○	全角混在	-	20	-	-	-	車両のナンバー
6	-	最大積載量(Kg)	1	8176		○	半角数値	-	6.0	0.0	-	-	車検証に記載されている最大積載量 単位: dddddd(kg)
7	-	車両重量(Kg)	1	12555		○	半角数値	-	6.0	0.0	-	-	車検証に記載されている車両重量 単位: dddddd(kg)
8	-	空車重量(Kg)	1	8176		○	半角数値	-	6.0	0.0	-	-	実測した車両の空状態での重量 単位: dddddd(kg)
9	-	検索対象フラグ	1	0		○	半角数字	-	-	-	-	CT0040	車両が故障した場合などに検索対象としないよう制御するフラグ
10	-	車両データメモ	1	○○車両			全角混在	-	400	-	-	-	任意のメモ

別紙2 インターフェース仕様書

ファイル インターフェースID		IFT0630				ファイル インターフェース名		運転手マスタ出力					入出力区分	出力
ファイル名		運転手マスタ_作成日時(YYYYMMDD).csv				固定長・XML・CSV		CSV					文字コード	SJIS
No.	レベル	データ項目名	繰返し	データ例	主 キ ー	データ形式						備考		
						必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)		コードID	
1	-	事業者ID	1	JV000000000000000001	1	○	半角英数字	-	20	-	-	-	所属する事業者のID	
2	-	事業者名	1	〇〇事業者		○	全角混在	-	20	-	-	-		
3	-	運転手ID	1	DV000000001	2	○	半角英数字	-	20	-	-	-	運転手を特定するID	
4	-	運転手名	1	運転 太郎		○	全角混在	-	20	-	-	-		
5	-	受講番号	1	123456789		○	半角数字	-	10	-	-	-	安全運転管理研修を合格し、受領した合格証の受講番号を設定する	
6	-	携帯番号	1	08066666666		○	半角数字	-	11	-	-	-	業務で利用する携帯番号 緊急時における運転手の連絡先	
7	-	輸送下請け事業者	1	〇〇輸送		○	全角混在	-	20	-	-	-	運転手が実際に所属する事業者	
8	-	車両ID	1	12345678901234567890			半角英数字	-	20	-	-	-	運転手が利用する車両が決まっている場合に設定	
9	-	検索対象フラグ	1	0		○	半角数字	-	-	-	-	CT0040	運転手が離職した場合などに検索対象としないよう 制御するフラグ	
10	-	運転手メモ	1	〇〇メモ			全角混在	-	400	-	-	-	任意のメモ	

別紙2 インターフェース仕様書

インターフェースID	インターフェース名
IFT0640	輸送カード情報連携

機能概要

受入事業者からの要求に応じて、総合管理システム側の輸送カード情報を返却する。

◎制約事項

- ・JVからの問い合わせの頻度については最低1分以上開ける。
- ・1度に問い合わせできる輸送カード番号は1,000個までとする。

前提条件

主キー: 輸送事業者ID、輸送カード番号

区分	No	レベル	データ項目		要素数	データ例	データ形式						項目説明	
			論理名	物理名			必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)		コードID
要求	1	01	受入事業者ID	comId	1	JV000000000000000001	○	半角英数字	-	20	-	-	-	要求した事業者となる。
	2	01	輸送カード明細	dtl	1~n	-	○	配列	-	-	-	-	-	輸送カード番号を複数指定可能とする。
	3	02	輸送事業者ID	trpComId	1	JV000000000000000001	○	半角英数字	-	20	-	-	-	輸送事業者を特定するID。
	4	02	輸送カード番号	crdNo	1	d123456789012d	○	半角英数字	-	20	-	-	-	輸送情報を特定するID。
応答	1	01	ステータスコード	sttCd	1	00	○	半角数字	-	-	-	-	CC0001	インターフェースの連携処理が正常終了したか異常終了したか。 ※異常終了した場合、要求に対するデータ更新は全て取り消しとなる。 00:正常終了 01:異常終了
	2	01	エラーコード	errCd	1	ECJ0001		半角英数字	-	7	-	-	-	ステータスコードが「00」以外は必須。
	3	01	受信日時	rcvDt	1	2015/11/22 13:11:34	○	日時	-	-	-	-	-	リクエストを受信した日時
	4	01	件数	cnt	1	0	○	半角数値	-	6	0	-	-	明細の件数。 要求に一致するデータがない場合には0件となる。
	5	01	輸送カード明細	dtl	1~n	-	○	配列	-	-	-	-	-	輸送カード毎に明細が作成される。

別紙2 インターフェース仕様書

区分	No	レベル	データ項目		要素数	データ例	データ形式						項目説明	
			論理名	物理名			必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)		コードID
	6	02	輸送事業者ID	trpComId	1	JV000000000000000001	○	半角英数字	-	20	-	-	-	輸送事業者を特定するID。
	7	02	輸送カード番号	crdNo	1	d123456789012d	○	半角英数字	-	20	-	-	-	輸送情報を特定するID。 事業者内でユニークで発番すること。
	8	02	仮置場ID	tmpLocId	1	m543d001	○	半角英数字	-	20	-	-	-	仮置場を特定するID。
	9	02	車両ID	vcId	1	VC000000000000000001	○	半角英数字	-	20	-	-	-	車両を特定するID。
	10	02	車両番号	vcNum	1	いわきあ1234	○	全角混在	-	80	-	-	-	
	11	02	運転手ID	drvId	1	DV000000000000000001	○	半角英数字	-	20	-	-	-	運転手を特定するID。
	12	02	運転手名	drvName	1	総合太郎	○	全角文字	-	80	-	-	-	
	13	02	保管場ID	stgLocId	1	A000000000000000001	○	半角英数字	-	20	-	-	-	受入先となる場所(保管場)を特定するID
	14	02	受入・分別施設ID	acpSrtFctId	1	c123d456	○	半角英数字	-	20	-	-	-	受入・分別施設を特定するID。
	15	02	積載大型土のう袋等 明細	lgSdBgDtl	1~n	-	○	配列	-	-	-	-	-	積載時の土のう袋等毎に明細が 作成される。
	16	03	新タグID	newTagId	1	a327000000043378a	○	半角英数字	-	20	-	-	-	総合管理システムにて発行される、 土のう袋を特定するID。
	17	03	タグ色	tagCol	1	1		半角英数字	-	1	-	-	-	分類番号(色)
	18	03	除去土壌等種別	rmSolTyp	1	2	○	半角英数字	-	-	-	-	CT0007	
	19	03	搬出時大型土のう袋 等重量	caLgSdBgWt	1	360	○	半角数値	-	6.0	0	-	-	単位: dddddd(kg) ※ニコイチサンコイチがあれば新 タグID内で同一値を設定すること。
	20	03	搬出時大型土のう袋 等線量	caLgSdBgDs	1	122.23	○	半角数値	-	8.2	0.00	-	-	単位: dddddd.dd(μ Sv/h) ※ニコイチサンコイチがあれば新 タグID内で同一値を設定すること。
	21	03	放射能濃度	radCon	1	123456789	○	半角数値	-	9.0	0	-	-	輸送種別が除去土壌等の場合は 搬出時に測定した 表面線量率から 換算した放射能濃度
	22	02	車両周り放射線量: 前	vcIRdtDsFr	1	0.12	○	半角数値	-	8.2	0.00	-	-	単位: μ SV/h 前方の放射線量を示す値。 ※2018年3月31日までは、必須項目 ※2018年4月1日から、本項目は 未使用になるため、NULLを固定 でセットする

別紙2 インターフェース仕様書

区分	No	レベル	データ項目		要素数	データ例	データ形式						項目説明		
			論理名	物理名			必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)		コードID	
	23	02	車両周り放射線量: 後	vcIRdtDsRe	1	0.32	○	半角数値	-	8,2	0.00	-	-	-	単位: μ SV/h 後方の放射線量を示す値。 ※2018年3月31日までは、必須項目 ※2018年4月1日から、本項目は未使用になるため、NULLを固定でセットする
	24	02	車両周り放射線量: 左	vcIRdtDsLe	1	0.22	○	半角数値	-	8,2	0.00	-	-	-	単位: μ SV/h 左方の放射線量を示す値。 ※2018年3月31日までは、必須項目 ※2018年4月1日から、本項目は未使用になるため、NULLを固定でセットする
	25	02	車両周り放射線量: 右	vcIRdtDsRi	1	0.22	○	半角数値	-	8,2	0.00	-	-	-	単位: μ SV/h 右方の放射線量を示す値。 ※2018年3月31日までは、必須項目 ※2018年4月1日から、本項目は未使用になるため、NULLを固定でセットする
	26	02	荷台高さの放射線量: 前	lctRdtDsFr	1	0.12	△	半角数値	-	8,2	0.00	-	-	-	単位: μ SV/h 前方の放射線量を示す値。 30 μ SV/hを越えるフレコンがあった場合必須
	27	02	荷台高さの放射線量: 後	lctRdtDsRe	1	0.32	△	半角数値	-	8,2	0.00	-	-	-	単位: μ SV/h 後方の放射線量を示す値。 30 μ SV/hを越えるフレコンがあった場合必須
	28	02	荷台高さの放射線量: 左	lctRdtDsLe	1	0.22	△	半角数値	-	8,2	0.00	-	-	-	単位: μ SV/h 左方の放射線量を示す値。 30 μ SV/hを越えるフレコンがあった場合必須

別紙2 インターフェース仕様書

区分	No	レベル	データ項目		要素数	データ例	データ形式						項目説明	
			論理名	物理名			必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)		コードID
	29	02	荷台高さの放射線 量:右	IctRdtDsRi	1	0.22	△	半角数値	-	8.2	0.00	-	-	単位: μ SV/h 右方の放射線量を示す値 30 μ SV/hを越えるフレコンがあっ た場合必須

別紙2 インターフェース仕様書

ファイル インターフェースID		IFR0010		ファイル インターフェース名		日次報告データ取込						入出力区分	入力
ファイル名		任意		固定長・XML・CSV		CSV						文字コード	SJIS
No.	レベル	データ項目名	繰返し	データ例	主 キ ー	データ形式							備考
						必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)	コードID	
1	-	報告年月週	1	2016/02_1w	1	○	半角文字	-	10	-	-	-	書式:yyyy/mm_9w データ例は、2016/2月1週目を示す。 日次報告データを報告する週 ファイル内は、すべて同一であること。 日次報告データは、報告年月週単位でデータ管理を 行う。 すでにデータベースに登録されている場合は、本ファ イル内容で全て差替える。
2	-	SEQ	1	1	2	○	半角数値	-	5	1	-	-	作業者を区別する番号で1から順に連番を設定す る。 日次報告作業日が変われば同一作業者でも異なる SEQとする。
3	-	日次報告作業日	1	2016/04/07		○	日付	-	-	-	-	-	作業者の作業日付。
4	-	日次報告始業時間	1	09:00		○	時刻	-	5	00:00	23:59	-	作業者の始業時間。
5	-	日次報告終業時間	1	17:00		○	時刻	-	5	00:00	23:59	-	作業者の終業時間。
6	-	日次報告作業場所1	1	s447K0001		○	半角英数字	-	20	-	-	-	所定のルールに基づき作業場所コードを設定。
7	-	日次報告作業場所2	1	s447K0002		△	半角英数字	-	20	-	-	-	所定のルールに基づき作業場所コードを設定。

別紙2 インターフェース仕様書

ファイル インターフェースID		IFR0010			ファイル インターフェース名		日次報告データ取込					入出力区分	入力
ファイル名		任意			固定長・XML・CSV		CSV					文字コード	SJIS
No.	レベル	データ項目名	繰返し	データ例	主 キ ー	データ形式						コードID	備考
						必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)		
8	-	作業区分	1	DR000001		○	半角文字	-	-	-	-	CR0002	作業者がどのような作業に従事していたかを示す値となる。 ※具体的な値はコード設計を参照
9	-	日次報告測定結果	1	0.32		○	半角数値	-	8.2	0.00	-	-	作業者が作業日に測定した線量値となる。 単位: μ Sv

別紙2 インターフェース仕様書

ファイル インターフェースID		IFR0020				ファイル インターフェース名		月次報告データ取込					入出力区分	入力
ファイル名		任意				固定長・XML・CSV		CSV					文字コード	SJIS
No.	レベル	データ項目名	繰返し	データ例	主 キ ー	データ形式							備考	
						必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)	コードID		
1	-	報告年月	1	2016/02	1	○	日付	-	-	-	-	-	書式:yyyy/mm 月次報告データを報告する年月 ファイル内は、すべて同一であること。 月次データは、報告年月単位でデータ管理を行う。 すでにデータベースへ登録されている場合は、本ファイル内容で全て差替える。	
2	-	SEQ	1	1	2	○	半角数値	-	5	1	-	-	ファイル内のデータを特定する番号 1から順に連番を設定する。	
3	-	月次報告測定結果	1	10.12		○	半角数値	-	8.2	0.00	-	-	作業者の報告年月の評価値を設定。 中間貯蔵事業のみの評価値を設定。 単位: mSv 評価値が検出下限値を下回った場合(「X」の場合) は、「0.00」を設定する。	

別紙2 インターフェース仕様書

ファイル インターフェースID		IFR0030				ファイル インターフェース名		3ヶ月累積データ取込					入出力区分	入力
ファイル名		任意				固定長・XML・CSV		CSV					文字コード	SJIS
No.	レベル	データ項目名	繰返し	データ例	主 キ ー	データ形式							備考	
						必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)	コードID		
1	-	最終報告年月	1	2016/02	1	○	日付	-	-	-	-	-	書式:yyyy/mm 3ヶ月累積データを報告する年月 最終報告年月を設定する。 例)4月、5月、6月の報告であれば6月とする。 ファイル内は、すべて同一であること。 3ヶ月データは、最終報告年月単位でデータ管理を行う。 すでにデータベースへ登録されている場合は、本ファイル内容で全て差替える。	
2	-	SEQ	1	1	2	○	半角数値	-	5	1	-	-	ファイル内のデータを特定する番号 1から順に連番を設定する。	
3	-	3ヶ月累積値	1	10.12		○	半角数値	-	8.2	0.00	-	-	作業者の直近3ヶ月の被ばく線量累計。 中間貯蔵事業のみでなく全事業での累積被ばく量を 設定する。 単位: mSv 評価値が検出下限値を下回った場合(「X」の場合) は、「0.00」を設定する。 例) 4月「15」5月「10」6月「×」は、「25.00」を設定。 4月「×」5月「10」6月「×」は、「10.00」を設定。 4月「×」5月「×」6月「×」は、「0.00」を設定。	

別紙2 インターフェース仕様書

ファイル インターフェースID		IFR0040		ファイル インターフェース名		四半期累積データ取込						入出力区分	入力
ファイル名		任意		固定長・XML・CSV		CSV						文字コード	SJIS
No.	レベル	データ項目名	繰返し	データ例	主 キ ー	データ形式							備考
						必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)	コードID	
1	-	報告四半期	1	2015-1	1	○	半角文字	-	-	-	-	CR0005	四半期報告データを報告する年度と四半期区分書式:yyyy-n yyyyは、年度を設定する。 nは四半期区分のコード値を設定する。 ファイル内は、すべて同一であること。 四半期累積データは、報告四半期単位でデータ管理を行う。 すでにデータベースへ登録されている場合は、本ファイル内容で全て差替える。
2	-	SEQ	1	1	2	○	半角数値	-	5	1	-	-	ファイル内のデータを特定する番号 1から順に連番を設定する。
3	-	四半期報告測定結果	1	10.12		○	半角数値	-	8.2	0.00	-	-	作業者の報告四半期の評価値を設定。 中間貯蔵事業のみの評価値を設定。 単位: mSv 評価値が検出下限値を下回った場合(「X」の場合)は、「0.00」を設定する。 例) 4月「15」5月「10」6月「×」は、「25.00」を設定。 4月「×」5月「10」6月「×」は、「10.00」を設定。 4月「×」5月「×」6月「×」は、「0.00」を設定。

別紙2 インターフェース仕様書

ファイル インターフェースID		IFR0050		ファイル インターフェース名		作業員データ取込						入出力区分	入力
ファイル名		任意		固定長・XML・CSV		CSV						文字コード	SJIS
No.	レベル	データ項目名	繰返し	データ例	主 キ ー	データ形式							備考
						必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)	コードID	
1	-	報告年月	1	2016/02	1	○	日付	-	-	-	-	-	書式:yyyy/mm 作業員データを報告する年月 ファイル内は、すべて同一であること。 作業員データは、報告年月単位でデータ管理を行う。 すでにデータベースへ登録されている場合は、本ファイル内容で全て差替える。
2	-	SEQ	1	1	2	○	半角数値	-	5	1	-	-	ファイル内のデータを特定する番号 1から順に連番を設定する。
3	-	生年月日	1	2016/04/07		○	日付	-	-	-	-	-	
4	-	被ばく歴(当年度)	1	0.32		○	半角数値	-	8.2	0.00	-	-	当該年度の放射線管理手帳に記載の被ばく歴の値となる。 中間貯蔵事業だけでなく全事業の当月までの被ばく線量を累積した値を設定すること。 単位:mSv 例)登録する年月が2016/7(2016年度)であった場合は、2016/7までの累積した値を設定する。
5	-	過去年度被ばく歴(1年前)	1	0.32		○	半角数値	-	8.2	0.00	-	-	過去年度(1年前)の放射線管理手帳に記載の被ばく歴の値となる。 単位:mSv 例)登録する年月が2016/7(2016年度)であった場合は、2015年度の集計した値を設定する。 設定値無しの場合、“0.00”を設定すること。
6	-	過去年度被ばく歴(2年前)	1	0.32		○	半角数値	-	8.2	0.00	-	-	過去年度(2年前)の放射線管理手帳に記載の被ばく歴の値となる。 単位:mSv 例)登録する年月が2016/7(2016年度)であった場合は、2014年度の集計した値を設定する。 設定値無しの場合、“0.00”を設定すること。

別紙2 インターフェース仕様書

No.	レベル	データ項目名	繰返し	データ例	主キー	データ形式						備考	
						必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)		コードID
7	-	過去年度被ばく歴(3年前)	1	0.32		○	半角数値	-	8.2	0.00	-	-	<p>過去年度(3年前)の放射線管理手帳に記載の被ばく歴の値となる。 単位:mSv</p> <p>例)登録する年月が2016/7(2016年度)であった場合は、2013年度の集計した値を設定する。</p> <p>設定値無しの場合、“0.00”を設定すること。</p>
8	-	過去年度被ばく歴(4年前)	1	0.32		○	半角数値	-	8.2	0.00	-	-	<p>過去年度(4年前)の放射線管理手帳に記載の被ばく歴の値となる。 単位:mSv</p> <p>例)登録する年月が2016/7(2016年度)であった場合は、2012年度の集計した値を設定する。</p> <p>設定値無しの場合、“0.00”を設定すること。</p>
9	-	電離検診最終受診日	1	2016/04/07			日付	-	-	-	-	-	
10	-	WBC最終受診日	1	2016/04/07			日付	-	-	-	-	-	
11	-	特別教育最終受講日	1	2016/04/07		○	日付	-	-	-	-	-	
12	-	講習受講日(予備1)	1	2016/04/07			日付	-	-	-	-	-	環境省/JESCOによる中間貯蔵事業のドライバー研修日を指定してください。
13	-	講習受講日(予備2)	1	2016/04/07			日付	-	-	-	-	-	
14	-	登録日	1	2016/04/07		○	日付	-	-	-	-	-	作業員が就業を開始した日付を指定してください。
15	-	登録解除日	1	2016/04/07			日付	-	-	-	-	-	<p>作業員が就業を解除した際に、解除した年月にのみ指定してください。 就業を解除した年月以降は、作業員登録ファイルに含めないでください。</p> <p>例)2016/5/21に登録解除した場合は、2016/5の作業員登録ファイルのみ登録解除日を指定し、2016/6以降には、当該作業員は、作業員登録ファイルに含めない。</p>

別紙2 インターフェース仕様書

ファイル インターフェースID		IFM0020				ファイル インターフェース名		空間線量率(手動)取込					入出力区分	入力
ファイル名		任意				固定長・XML・CSV		CSV					文字コード	SJIS
No.	レベル	データ項目名	繰返し	データ例	主 キ ー	データ形式							備考	
						必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)	コードID		
1	-	変更区分	1	I		○	半角英字	-	-	-	-	CC0002	連携データの登録(I)、更新(U)、削除(D)を制御する区分。 ※更新、削除時は、「手動測定結果(空間線量)日時」、「手動測定結果(空間線量)測定地点ID」に過去に送信済のものを入れてください。	
2	-	手動測定結果(空間線量)日時	1	2015/11/22 13:11:34	1	○	日時	-	-	-	-	-	手動測定した日時	
3	-	手動測定結果(空間線量)測定地点ID	1	01234567890123456789	2	○	半角英数字	-	20	-	-	-	手動測定した地点のID (測定地点IDは、環境省/JESCOより連絡を受ける)	
4	-	手動測定結果(空間線量)測定機材	1	機器A01		○	全角混在	-	200	-	-	-	手動測定した機器を特定できる名称	
5	-	手動測定結果(空間線量)線量率	1	9.18		○	半角数値	-	8.2	0.00	-	-	手動測定した結果による線量率 単位[μ Sv/h]	

別紙2 インターフェース仕様書

ファイル インターフェースID		IFM0050		ファイル インターフェース名		地下水放射線物質濃度取込						入出力区分	入力
ファイル名		任意		固定長・XML・CSV		CSV						文字コード	SJIS
No.	レベル	データ項目名	繰返し	データ例	主 キ ー	データ形式						備考	
						必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)		コードID
1	-	変更区分	1	I		○	半角英字	-	-	-	-	CC0002	連携データの登録(I)、更新(U)、削除(D)を制御する区分。 ※更新、削除時は、「測定結果(地下水放射線物質濃度)日時」、「測定結果(地下水放射線物質濃度)測定地点ID」に過去に送信済のものを入れてください。
2	-	測定結果(地下水放射線物質濃度)日時	1	2015/11/22 13:11:34	1	○	日時	-	-	-	-	-	採水した日時
3	-	測定結果(地下水放射線物質濃度)測定地点ID	1	01234567890123456789	2	○	半角英数字	-	20	-	-	-	測定した地点のID (測定地点IDは、環境省/JESCOより連絡を受ける)
4	-	測定結果(地下水放射線物質濃度)測定機材	1	機器A01		○	全角混在	-	200	-	-	-	測定した機器
5	-	不検出フラグ(セシウム134)	1	0		○	半角数値	-	-	-	-	CM0009	※測定結果(セシウム134)が“N.D.(不検出)”の場合、“1”を、不検出無しの場合、“0”を設定。
6	-	測定結果(地下水放射線物質濃度)セシウム134	1	1.00		△	半角数値	-	4.2	0.00	-	-	測定した結果による放射性物質濃度(セシウム134) 単位[Bq/L] ※検出フラグ(セシウム134)が“0”の場合に値を設定する。“1”の場合は設定不要
7	-	不検出フラグ(セシウム137)	1	0		○	半角数値	-	-	-	-	CM0010	※測定結果(セシウム137)が“N.D.(不検出)”の場合、“1”を、不検出無しの場合、“0”を設定。
8	-	測定結果(地下水放射線物質濃度)セシウム137	1	1.00		△	半角数値	-	4.2	0.00	-	-	測定した結果による放射性物質濃度(セシウム137) 単位[Bq/L] ※検出フラグ(セシウム137)が“0”の場合に値を設定する。“1”の場合は設定不要

別紙2 インターフェース仕様書

ファイル インターフェースID		IFC0010			ファイル インターフェース名		CSV連携エラー情報出力					入出力区分	出力
ファイル名		CSV連携エラー情報_作成日時(YYYYMMDDHHMMSS).csv			固定長・XML・CSV		CSV					文字コード	SJIS
No.	レベル	データ項目名	繰返し	データ例	主 キ ー	データ形式						備考	
						必須	種類	サイズ (下限)	サイズ (上限)	範囲 (下限)	範囲 (上限)		コードID
1	-	行数	1	101		○	半角数字	-	-	-	-	-	データチェックでエラーが発生したデータの行番号を設定。
2	-	データ名	1	市町村_番号		○	全角混在	-	250	-	-	-	データチェックでエラーが発生したデータの項目名を設定。
3	-	エラー内容	1	必須項目エラー		○	全角混在	-	100	-	-	-	データチェックで発生したエラー内容を示すエラーメッセージを設定。

別紙2 インターフェース仕様書

コード一覧

項番	サブシステム	コードID	コード名称	コード桁数	内容説明
1	共通	CC0001	外部インターフェース(JSON)ステータスコード	2	外部インターフェース(JSON)の実行処理結果を示す。
2	共通	CC0002	外部インターフェース連携データ変更区分	1	外部インターフェースで連携データに対する処理の区分(新規登録/更新/削除)を示す。
3	共通	CC0005	外部インターフェース(JSON)連携結果コード	1	外部インターフェース(JSON)で連携されたデータに異常データが存在したか否かを示す。
4	共通	CC0006	外部インターフェース(JSON)連携データ異常コード	2	外部インターフェース(JSON)で連携されたデータの異常内容を示す。
5	共通	CC0007	外部インターフェース(JSON)連携アラート有無	1	外部インターフェース(JSON)で連携されたデータにアラートが存在したか否かを示す。
6	共通	CC0008	アラートコード	2	アラートを判別するためのコード。
7	トレーサビリティ	CT0002	物品種類	1	物品が可燃か不燃かを判別する区分。
8	トレーサビリティ	CT0003	有害物質	1	有害物質の有無を判別する区分。
9	トレーサビリティ	CT0005	津波浸水域	1	津波浸水域由来なのかを判別する区分
10	トレーサビリティ	CT0006	特定施設	1	特定施設なのかを判別する区分
11	トレーサビリティ	CT0007	除去土壌等種別	2	除去土壌等の種別(可燃、不燃、など)
12	トレーサビリティ	CT0008	発生土地分類	2	除去土壌等の発生地点の(現状)土地の分類
13	トレーサビリティ	CT0009	荷姿種別	1	荷姿の種別
14	トレーサビリティ	CT0010	内袋利用方法	1	大型土のう袋等の内袋の使用有無
15	トレーサビリティ	CT0011	内袋材質種別	1	大型土のう袋等の内袋の材質
16	トレーサビリティ	CT0014	輸送ステータス区分	2	輸送の状況を判別する区分。
17	トレーサビリティ	CT0015	輸送カード申請結果	1	輸送カードの申請が承認されたかどうかを判別する区分。
18	トレーサビリティ	CT0022	イベント種類	1	イベント種類
19	トレーサビリティ	CT0028	運行状態	1	運行計画の運行状態
20	トレーサビリティ	CT0040	検索対象フラグ	1	検索対象とするか、しないかを判別するフラグ。
21	トレーサビリティ	CT0042	オーバーパック有無	1	オーバーパックしたか、していないかを判別するフラグ。
22	トレーサビリティ	CT0043	区画区分	1	定置区画ごとに可燃・不燃・有害などを分けて定置するための区分。
23	トレーサビリティ	CT0044	搬出元種別	1	搬出元の種別(仮置場、焼却炉など)を示す区分。
24	トレーサビリティ	CT0054	焼却灰種別	1	焼却灰が主灰か飛灰かを示す区分。
25	トレーサビリティ	CT0062	施設区分	1	受入施設が定置場か受入・分別施設かを示す区分。
26	トレーサビリティ	CT0063	濃度区分	1	受入・分別施設の対応可能放射濃度を判別する区分。
27	トレーサビリティ	CT0064	受入完了結果	1	受入の完了、未完了を判別する。
28	被ばく	CR0002	作業者区分	10	作業者の属性を特定する区分。(管理者、ドライバーなど)
29	被ばく	CR0005	四半期区分	1	四半期を判別する区分
30	モニタリング	CM0009	不検出フラグ(セシウム134)	1	不検出の有無を識別するフラグ
31	モニタリング	CM0010	不検出フラグ(セシウム137)	1	不検出の有無を識別するフラグ

別紙2 インターフェース仕様書

コード仕様(共通)

項番	コードID	コード名称	コード値	コード値名称	コード値名称 (略称)	備考
1	CC0001	外部インターフェース(JSON)ステータスコード	00	正常終了	正常終了	
2	CC0001	外部インターフェース(JSON)ステータスコード	01	異常終了	異常終了	
3	CC0002	外部インターフェース連携データ変更区分	I	新規登録	新規登録	
4	CC0002	外部インターフェース連携データ変更区分	U	更新	更新	
5	CC0002	外部インターフェース連携データ変更区分	D	削除	削除	
6	CC0005	外部インターフェース(JSON)連携結果コード	0	異常データなし	異常コードなし	
7	CC0005	外部インターフェース(JSON)連携結果コード	1	異常データあり	異常コードあり	
8	CC0006	外部インターフェース(JSON)連携データ異常コード	01	必須エラー	必須エラー	
9	CC0006	外部インターフェース(JSON)連携データ異常コード	02	サイズエラー	サイズエラー	
10	CC0006	外部インターフェース(JSON)連携データ異常コード	03	範囲エラー	範囲エラー	
11	CC0006	外部インターフェース(JSON)連携データ異常コード	04	書式エラー	書式エラー	
12	CC0006	外部インターフェース(JSON)連携データ異常コード	05	データ状況エラー(重複データ)	重複エラー	
13	CC0006	外部インターフェース(JSON)連携データ異常コード	06	データ状況エラー(更新対象無し)	更新対象無し	
14	CC0006	外部インターフェース(JSON)連携データ異常コード	07	データ状況エラー(削除対象無し)	削除対象無し	
15	CC0007	外部インターフェース(JSON)連携アラート有無	0	アラート無し	アラート無し	
16	CC0007	外部インターフェース(JSON)連携アラート有無	1	アラート有り	アラート有り	
17	CC0008	アラートコード	01	輸送車両順序チェック	輸送車両順序 チェック	
18	CC0008	アラートコード	02	車両と運転手の組合せ チェック	車両と運転手の 組合せチェック	

別紙2 インターフェース仕様書

コード仕様(共通)

項番	コードID	コード名称	コード値	コード値名称	コード値名称 (略称)	備考
19	CC0008	アラートコード	03	積載内容チェック(積載重量)	積載重量チェック	
20	CC0008	アラートコード	04	輸送前車両チェック	輸送前車両チェック	
21	CC0008	アラートコード	06	輸送ルート外チェック	輸送ルート外 チェック	
22	CC0008	アラートコード	08	位置停滞のチェック	位置停滞のチェック	
23	CC0008	アラートコード	10	閾値超過のチェック	閾値超過のチェック	
24	CC0008	アラートコード	11	積載内容チェック(可燃不燃混在)	可燃不燃混在 チェック	
25	CC0008	アラートコード	12	積載内容チェック(有害無害混在)	有害無害混在 チェック	
26	CC0008	アラートコード	13	事故アラート	事故アラート	
27	CC0008	アラートコード	14	お知らせアラート	お知らせアラート	
28	CC0008	アラートコード	15	日次被ばく線量閾値超過 チェック	日次被ばくチェック	
29	CC0008	アラートコード	16	3ヶ月累積被ばく線量閾値 超過チェック	3ヶ月累積被ばく チェック	
30	CC0008	アラートコード	17	年間累積被ばく線量閾値 超過チェック	年間累積被ばく チェック	
31	CC0008	アラートコード	18	5年累積被ばく線量閾値超 過チェック	5年累積被ばく チェック	
32	CC0008	アラートコード	19	ファイル欠損アラート	ファイル欠損ア ラート	
33	CC0008	アラートコード	20	送信ID欠損アラート	送信ID欠損アラ ート	
34	CC0008	アラートコード	21	施設予定地境界_空間線 量率(連続)_閾値超過ア ラート	施設予定地境界 空間線量率(連続) アラート	

別紙2 インターフェース仕様書

コード仕様(共通)

項番	コードID	コード名称	コード値	コード値名称	コード値名称 (略称)	備考
35	CC0008	アラートコード	22	施設予定地境界_大気中 放射性物質濃度(連続)_閾 値超過アラート	施設予定地境界 大気中放射性物 質濃度(連続)ア ラート	
36	CC0008	アラートコード	23	輸送路_空間線量率(連続) 閾値超過アラート	輸送路空間線量 率(連続)アラート	
37	CC0008	アラートコード	24	保管場_空間線量率(連続) 閾値超過アラート	保管場空間線量 率(連続)アラート	
38	CC0008	アラートコード	25	保管場_空間線量率(日次/ 週次)_閾値超過アラート	保管場空間線量 率(日次/週次)ア ラート	
39	CC0008	アラートコード	26	保管場_地下水中放射性 物質濃度(週次)_閾値超過 アラート	保管場地下水中 放射性物質濃度 (週次)アラート	
40	CC0008	アラートコード	27	仮置場出発時刻チェック	仮置場出発時刻 チェック	
41	CC0008	アラートコード	28	輸送カード発行チェック	輸送カード発行 チェック	
42	CC0008	アラートコード	29	荷下ろし全量チェック	荷下ろし全量 チェック	
43	CC0008	アラートコード	30	ログオフチェック(ログオフ 誤り)	ログオフチェック (ログオフ誤り)	
44	CC0008	アラートコード	31	ログオフチェック(ログオフ 忘れ)	ログオフチェック (ログオフ忘れ)	
45	CC0008	アラートコード	32	車両周り線量突出チェック	車両周り線量突 出チェック	
46	CC0008	アラートコード	33	積載内容チェック(除去土 壌等と焼却灰混在)	除去土壌等と焼 却灰混在チェック	
47	CC0008	アラートコード	34	積載内容チェック(主灰と飛 灰混在)	主灰と飛灰混在 チェック	
48	CC0008	アラートコード	35	積載内容チェック(輸送可 能放射能濃度)	輸送可能放射能 濃度チェック	
49	CC0008	アラートコード	36	積載内容チェック(放射能 濃度レベル混在)	放射能濃度レベ ル混在チェック	
50	CC0008	アラートコード	37	受入分別施設入力チェック	受入分別施設入 力チェック	

別紙2 インターフェース仕様書

コード仕様(共通)

項番	コードID	コード名称	コード値	コード値名称	コード値名称 (略称)	備考
51	CC0008	アラートコード	38	土壌等有無チェック	土壌等有無チェック	
52	CC0008	アラートコード	39	土壌等以外有無チェック	土壌等以外有無 チェック	
53	CC0008	アラートコード	40	高濃度低濃度混載チェック	高濃度低濃度混 載チェック	
54	CC0008	アラートコード	41	カード申請時施設整合 チェック	カード申請時施設 整合チェック	
55	CC0008	アラートコード	42	施設と積載物整合チェック	施設と積載物整 合チェック	
56	CC0008	アラートコード	43	施設受入時施設整合 チェック	施設受入時施設 整合チェック	

別紙2 インターフェース仕様書

コード仕様(トレーサビリティ)

項番	コードID	コード名称	コード値	コード値名称	コード値名称 (略称)	備考
1	CT0002	物品種類	0	可燃	可燃	
2	CT0002	物品種類	1	不燃	不燃	
3	CT0002	物品種類	2	主灰	主灰	
4	CT0002	物品種類	3	飛灰	飛灰	
5	CT0003	有害物質	0	無	無	有害無し
6	CT0003	有害物質	1	有	有	有害有り
7	CT0005	津波浸水	1	津波浸水域由来	津波浸水域由来	
8	CT0005	津波浸水	2	津波浸水域由来以外	津波浸水域由来以外	
9	CT0006	特定施設	1	特定施設由来	特定施設由来	
10	CT0006	特定施設	2	特定施設由来以外	特定施設由来以外	
11	CT0007	除去土壌等種別	1	草木類	草木類	剪定枝、落葉、芝、苔、雑草、リター層、伐採木、抜根等
12	CT0007	除去土壌等種別	2	可燃廃棄物	可燃廃棄物	タイベックス、ウエス、マスク、フィルタ、ゴム手袋、紙類等(コード値:01以外の可燃廃棄物)
13	CT0007	除去土壌等種別	3	土壌等	土壌等	土類、小石、砂利等
14	CT0007	除去土壌等種別	4	コンクリート殻等	コンクリート殻等	瓦、レンガ、ブロック、岩石等
15	CT0007	除去土壌等種別	5	アスファルト混合物	アスファルト混合物	
16	CT0007	除去土壌等種別	6	不燃物・混合物	不燃物・混合物	危険物・有害物を除く(コード値:03、04、05以外の不燃物・混合物)
17	CT0007	除去土壌等種別	7	石綿含有建材	石綿含有建材	
18	CT0007	除去土壌等種別	8	石膏ボード	石膏ボード	

別紙2 インターフェース仕様書

コード仕様(トレーサビリティ)

項番	コードID	コード名称	コード値	コード値名称	コード値名称 (略称)	備考
19	CT0007	除去土壌等種別	9	危険物・有害物	危険物・有害物	コード値:07、08以外
20	CT0007	除去土壌等種別	10	屋外残置廃棄物_可燃物	屋外残置廃棄物_可燃物	
21	CT0007	除去土壌等種別	11	屋外残置廃棄物_不燃物	屋外残置廃棄物_不燃物	
22	CT0007	除去土壌等種別	12	仮置場解体発生可燃物	仮置場解体発生可燃物	仮置場解体時の防水シート等
23	CT0007	除去土壌等種別	13	仮置場解体発生不燃物	仮置場解体発生不燃物	間詰め材、整地用の土壌等
24	CT0007	除去土壌等種別	14	焼却灰	焼却灰	
25	CT0008	発生土地分類	1	住宅地等	住宅地等	
26	CT0008	発生土地分類	2	学校	学校	
27	CT0008	発生土地分類	3	公園	公園	
28	CT0008	発生土地分類	4	大型施設	大型施設	
29	CT0008	発生土地分類	5	道路	道路	
30	CT0008	発生土地分類	6	法面・斜面	法面・斜面	
31	CT0008	発生土地分類	7	草地、芝地	草地、芝地	
32	CT0008	発生土地分類	8	農地	農地	
33	CT0008	発生土地分類	9	果樹園	果樹園	
34	CT0008	発生土地分類	10	森林	森林	
35	CT0008	発生土地分類	11	仮置場	仮置場	
36	CT0009	荷姿種別	1	耐候性大型土のう	耐候性	

別紙2 インターフェース仕様書

コード仕様(トレーサビリティ)

項番	コードID	コード名称	コード値	コード値名称	コード値名称 (略称)	備考
37	CT0009	荷姿種別	2	クロス型大型土のう袋等	クロス型	
38	CT0009	荷姿種別	3	ランニング型大型土のう袋等_I	ランニング I	
39	CT0009	荷姿種別	4	ランニング型大型土のう袋等_II	ランニング II	
40	CT0009	荷姿種別	5	フレキシブルコンテナ耐候性(3年)	耐候3年	
41	CT0009	荷姿種別	6	フレキシブルコンテナ耐水・耐候性(3年)	耐水耐候3年	
42	CT0009	荷姿種別	7	その他	その他	
43	CT0009	荷姿種別	8	耐候(オーバーパック)	耐候オーバー	
44	CT0009	荷姿種別	9	耐水・耐候(オーバーパック)	耐水耐候オーバー	
45	CT0010	内袋利用方法	1	内袋なし	内袋なし	
46	CT0010	内袋利用方法	2	1重内袋	1重内袋	
47	CT0010	内袋利用方法	3	2重内袋(内袋をあらかじめ2重にした後に内容物を格納)	2重内袋(内袋をあらかじめ2重にした後に内容物を格納)	内袋をあらかじめ2重にした後に内容物を格納した場合に選択
48	CT0010	内袋利用方法	4	2重内袋(1重の内袋に内容物を格納した後に2重化)	2重内袋(1重の内袋に内容物を格納した後に2重化)	1重の内袋に内容物を格納した後にさらに2重化した場合に選択
49	CT0010	内袋利用方法	5	アルミ内袋		
50	CT0010	内袋利用方法	6	ポリエチレン内袋_二重以上		

別紙2 インターフェース仕様書

コード仕様(トレーサビリティ)

項番	コードID	コード名称	コード値	コード値名称	コード値名称 (略称)	備考
51	CT0010	内袋利用方法	7	ポリエチレン内袋_一重		
52	CT0010	内袋利用方法	8	その他内袋_二重以上		
53	CT0010	内袋利用方法	9	その他内袋_一重		
54	CT0011	内袋材質種別	1	アルミ内袋利用あり	アルミ内袋利用あり	
55	CT0011	内袋材質種別	2	アルミ内袋利用なし	アルミ内袋利用なし	
56	CT0014	輸送ステータス区分	01	輸送開始	輸送開始	
57	CT0014	輸送ステータス区分	02	積込開始	積込開始	
58	CT0014	輸送ステータス区分	03	輸送カード発行申請	輸送カード発行申請	
59	CT0014	輸送ステータス区分	04	輸送カード発行承認済	輸送カード発行承認済	
60	CT0014	輸送ステータス区分	05	輸送カード強制発行承認済	輸送カード強制発行承認済	
61	CT0014	輸送ステータス区分	06	輸送カード発行済	輸送カード発行済	
62	CT0014	輸送ステータス区分	07	仮置場出発	仮置場出発	
63	CT0014	輸送ステータス区分	08	保管場到着	保管場到着	
64	CT0014	輸送ステータス区分	10	荷下ろし完了(全数量確認)	荷下ろし完了(全数量確認)	
65	CT0014	輸送ステータス区分	11	スクリーニング完了	スクリーニング完了	
66	CT0014	輸送ステータス区分	12	保管場出発	保管場出発	

別紙2 インターフェース仕様書

コード仕様(トレーサビリティ)

項番	コードID	コード名称	コード値	コード値名称	コード値名称 (略称)	備考
67	CT0014	輸送ステータス区分	13	輸送終了	輸送終了	
68	CT0014	輸送ステータス区分	14	施設受入(輻輳無)／一時 保管場荷下ろし(輻輳無)	施設受入(輻輳 無)／一時保管場 荷下ろし(輻輳無)	受入分別施設搬入(輻輳輸送ではない)または一時保管場荷下ろし(輻輳輸送ではない)の場合に、本コードを使用する。
69	CT0014	輸送ステータス区分	15	施設受入(輻輳有)／一時 保管場荷下ろし(輻輳有)	施設受入(輻輳 有)／一時保管場 荷下ろし(輻輳有)	受入分別施設搬入(輻輳)または一時保管場荷下ろし(輻輳)の場合に、本コードを使用する。
70	CT0015	輸送カード申請結果	0	承認	承認	
71	CT0015	輸送カード申請結果	1	否認	否認	
72	CT0015	輸送カード申請結果	2	強制承認待ち	強制承認待ち	
73	CT0022	イベント種類	0	急ブレーキ		急ブレーキに限らず、急減速の場合も本コードを使用する。
74	CT0022	イベント種類	1	一般道最高速度	一般道最高速度	
75	CT0022	イベント種類	2	高速度最高速度	高速度最高速度	
76	CT0022	イベント種類	3	急加速	急加速	
77	CT0022	イベント種類	4	急減速	急減速	本コードは使用しない。
78	CT0028	運行状態	0	計画中	計画中	
79	CT0028	運行状態	1	実施中	実施中	
80	CT0028	運行状態	2	終了	終了	
81	CT0040	検索対象フラグ	0	有効	有効	
82	CT0040	検索対象フラグ	1	無効	無効	
83	CT0042	オーバーパック有無	0	オーバーパック無し	無し	
84	CT0042	オーバーパック有無	1	オーバーパック有り	有り	

別紙2 インターフェース仕様書

コード仕様(トレーサビリティ)

項番	コードID	コード名称	コード値	コード値名称	コード値名称 (略称)	備考
85	CT0043	区画区分	1	可燃	可燃	
86	CT0043	区画区分	2	不燃	不燃	
87	CT0043	区画区分	3	有害物質	有害物質	
88	CT0043	区画区分	4	主灰	主灰	
89	CT0043	区画区分	5	飛灰	飛灰	
90	CT0044	搬出元種別	0	仮置場	仮置場	
91	CT0044	搬出元種別	1	保管場	保管場	
92	CT0044	搬出元種別	2	焼却炉	焼却炉	
93	CT0054	焼却灰種別	1	主灰	主灰	
94	CT0054	焼却灰種別	2	飛灰	飛灰	
95	CT0062	施設区分	0	定置場	定置場	
96	CT0062	施設区分	1	受入・分別施設	受入・分別施設	
97	CT0063	濃度区分	0	高濃度	高濃度	
98	CT0063	濃度区分	1	低濃度	低濃度	
99	CT0063	濃度区分	2	高濃度／低濃度	高濃度／低濃度	
100	CT0064	受入完了結果	0	受入未完了	受入未完了	
101	CT0064	受入完了結果	1	受入完了	受入完了	

別紙2 インターフェース仕様書

コード仕様(被ばく情報)

項番	コードID	コード名称	コード値	コード値名称	コード値名称 (略称)	備考
1	CR0002	作業者区分	CM000001	監督支援者	監督支援者	JESCO、TEPCOのみ設定可能
2	CR0002	作業者区分	CM000002	工事監督者	工事監督者	
3	CR0002	作業者区分	LD000001	仮置場工事作業 者	仮置場工事作 業 者	
4	CR0002	作業者区分	LD000002	仮置場警備員	仮置場警備員	
5	CR0002	作業者区分	LD000003	焼却灰仮置場作 業者	焼却灰仮置場 作 業 者	
6	CR0002	作業者区分	UN000001	保管場工事作 業者	保管場工事作 業 者	
7	CR0002	作業者区分	UN000002	保管場警備員	保管場警備員	
8	CR0002	作業者区分	UN000003	線量低減工事作 業者	線量低減工事 作 業 者	
9	CR0002	作業者区分	DR000001	運転者	運転者	
10	CR0002	作業者区分	DR000002	焼却灰輸送運 転者	焼却灰輸送運 転 者	
11	CR0002	作業者区分	SS000001	線量低減工事作 業者	線量低減工事 作 業 者	
12	CR0002	作業者区分	SS000002	施設建設工事作 業者	施設建設工事 作 業 者	
13	CR0002	作業者区分	SS000003	受入・分別施設 作業 者	受入・分別施設 作 業 者	
14	CR0002	作業者区分	SS000004	土壌貯蔵施設作 業者	土壌貯蔵施設 作 業 者	
15	CR0002	作業者区分	SS000005	未登録(予約)	未登録(予約)	
16	CR0002	作業者区分	SS000006	未登録(予約)	未登録(予約)	
17	CR0002	作業者区分	SS000007	施設警備員	施設警備員	
18	CR0002	作業者区分	SS000008	施設間運搬者	施設間運搬者	

別紙2 インターフェース仕様書

コード仕様(被ばく情報)

項番	コードID	コード名称	コード値	コード値名称	コード値名称 (略称)	備考
19	CR0002	作業者区分	OT000001	道路補修工事作業者	道路補修工事作 業者	
20	CR0002	作業者区分	OT000002	モニタリング作業者	モニタリング作業 者	JESCOのみ設定可能
21	CR0002	作業者区分	OT000003	その他警備員	その他警備員	
22	CR0005	四半期区分	1	4,5,6月の累積報告	4,5,6月の累積報告	
23	CR0005	四半期区分	2	7,8,9月の累積報告	7,8,9月の累積報告	
24	CR0005	四半期区分	3	10,11,12月の累積報告	10,11,12月の累積報告	
25	CR0005	四半期区分	4	1,2,3月の累積報告	1,2,3月の累積報告	

別紙2 インターフェース仕様書

コード仕様(モニタリング)

項番	コードID	コード名称	コード値	コード値名称	コード値名称 (略称)	備考
1	CM0009	不検出フラグ(セシウム134)	0	不検出無し	不検出無し	
2	CM0009	不検出フラグ(セシウム134)	1	不検出	不検出	
3	CM0010	不検出フラグ(セシウム137)	0	不検出無し	不検出無し	
4	CM0010	不検出フラグ(セシウム137)	1	不検出	不検出	

コードID体系

1. コード体系
桁数:6桁

桁毎の設定値

1桁目	2桁目	3桁～6桁目
"C"固定	サブシステム	連番

C:共通

0001～9999

T:トレーサビリティ

R:被ばく

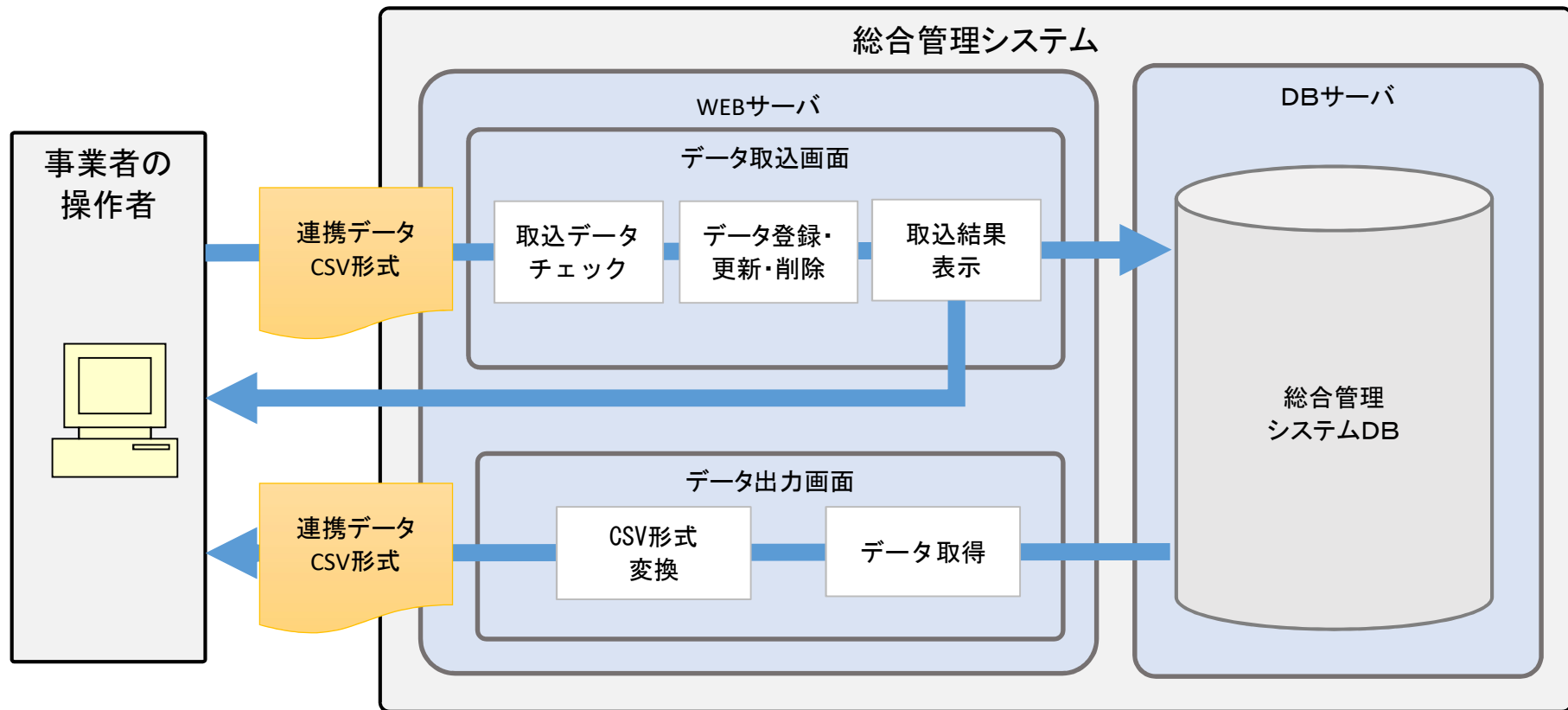
M:モニタ

3. CSV方式

3.1 CSV方式概要

各種データをシステム間で連携するための機能として、総合管理システムにてCSV形式での連携用の画面を提供する。連携用画面は「データ取込画面」と「データ出力画面」の2つの機能があり、「データ取込画面」では操作者が取込を行った際に「データチェック」「データ登録・更新・削除」の処理を行い、取込結果を画面に表示する。「データ出力画面」では操作者が指定したデータを総合管理システムから取得し、CSV形式に変換してダウンロードする。

3.2 CSV方式概要図



3.3 総合管理システムのブラウザ接続要件

総合管理システムにインターネット経由でブラウザ接続する場合の要件を以下に示す。

項目	要件
OS	Windows 10 以上
ブラウザ1	Microsoft Edge (Chromium)
ブラウザ2	Google Chrome Version48
クライアント証明書	利用申請に基づき発行されるクライアント証明書の設定が必要

3. 4 CSV形式

連携用の画面で使用するCSVの書式(入出力共通)は以下の通り。

ファイル形式	CSV
文字コード	SJIS
ヘッダ	なし
区切り文字	カンマ
項目の記述	ダブルクォート(“)で項目は括らない
エスケープ文字	ダブルクォート(“)を値として含める場合はダブルクォート(“)でエスケープする 例) あ”い ⇒ あ””い
レコード区切り	CR+LF
改行付きの値の設定	値の中にダブルクォート、カンマ、改行コードが含まれる場合は、項目をダブルクォートで括る 例) ”あああ[CR + LF]いいい”
空レコードの制御	空レコードは無視する
ダブルコーテーション	CSVファイル出力時、出力するデータの値の中に以下が含まれる場合、値はダブルコーテーション(“)で括られる。 項目中に改行コード有り(¥r、¥n、¥r¥n) 項目中にカンマ有り 項目中にダブルコーテーション(“)有り 項目の先頭に特殊記号(#、!) 項目の先頭に半角スペースが有り 項目の末尾に半角スペースが有り 行中の1項目めの先頭が半角英数字(0-9、A-Z、a-z)以外

【CSVデータイメージ】

例:車両データCSV

```

I,TOKYO_JV,T_JV_01,東京1号車,10tトラック,010-2854,1000,8000,総合太郎,×××仮置場用として追加
I,CHIBA_JV,C_JV_02,千葉2号車,レンジャーダンプ,070-2715,1000,55,8000,総合次郎,〇〇〇参入
U,FUKUYAMA_JV,F_JV_01,福山1号車,フォワードダンプ,011-5552,2100,61,8000,総合三郎,車両故障により変更
D,AOMORI_JV,A_JV_01,青森1号車
I,IWATE_JV,I_JV_01,岩手1号車,,110-8745,100000,51,10000,501,新規追加
I,NIIGATA_JV,N_JV_01,新潟1号車,エルフダンプ,019-0154,1000,5000,総合五郎,△△△中間貯蔵施設用として
:
:

```

3. 5 CSV処理方針

3. 5. 1 データ取込時の登録・更新

登録・更新対象のデータを全件チェック(※1)し、チェック結果が全て正常であれば総合管理システムに反映する。
チェックの結果、1件でも異常なデータが存在する場合には総合管理システムへの反映は行わず、画面にエラーを表示(※2)する。
登録・更新対象のデータには、「変更区分」(※3)を付与し、取込を実施する。

※1 データチェック

取込時に、「必須チェック」「桁数チェック」「範囲チェック」「書式チェック」「データ状況チェック」の5つの共通チェック処理を行う。その他チェックが必要な場合は、インターフェース毎に独自に実装する。

※2 取込時のエラー表示

取込時にデータチェックでエラーが発生した場合、画面にはエラーが発生した旨のメッセージのみを表示しエラーの詳細についてはエラーファイルに出力して、画面よりダウンロード可能とする。

※3 変更区分

取込データに対する処理内容を表す以下の区分(「I:新規(登録)」「U:変更(更新)」「D:削除」)。
取込内容を明確にし、データ不整合が発生している場合に想定外のデータ更新が行われないようにするため指定する。
「データ状況チェック」にて、変更区分と、総合管理システム側のデータ状況に不整合が発生していないかを確認し、以下の通り制御する。

- (1) 変更区分「I」で取り込まれたが、既に同じキーのデータが登録済みである場合
データの登録処理は行わず、異常データとしてエラーファイルに出力する。
- (2) 変更区分「U」で取り込まれたが、同じキーのデータが登録されていない場合
データの更新処理は行わず、異常データとしてエラーファイルに出力する。
- (3) 変更区分「D」で取り込まれたが、同じキーのデータが登録されていない場合
データの削除処理は行わず、異常データとしてエラーファイルに出力する。
- (4) 変更区分が存在しない
対象外として処理せず読み飛ばす。

3. 5. 2 データ出力

CSV出力の画面より、総合管理システム側に登録されているデータをCSV形式としてダウンロードする。
検索条件に一致するデータが存在しない場合、画面には対象データが存在しない旨のメッセージを表示する。
また、データ件数が一律で設定している閾値を超える場合、出力不可としてその旨メッセージを表示する。

3. 6 異常データの取込結果表示

CSVの「データ取込画面」にて異常データ有りだった場合、どのデータにどのような不備があったかを把握できるようにエラー情報を出力する。異常データを修正後は、再度画面から取込を実施する。
 制約事項として、エラー情報を保持しないため、他の画面へ遷移するとエラー情報は全て消える。

異常データの取込結果表示イメージ

The screenshot shows a web interface for data import. At the top, a blue header reads '除染時大型土のう袋等(非直轄)取込'. Below it, a red-bordered box contains the message: 'XXXへのアップロードでエラーが発生しました。'. The main form area is titled '入力項目' and includes a dropdown for '仮置き場' (set to '○○○○○区'), a text input for '取込ファイル' (containing 'C¥xxxxx¥xxxx¥xxxx.csv'), and a '参照' button. A '取込' button is also present. Below the form is a dashed box labeled 'エラーファイルのダウンロード'. An arrow points from this box to a file name '20160510142105.csv'. Below the file name is a table of error details:

行数	データ名	エラー内容
1	市町村_番号	必須項目エラー
101	内容物_種別	範囲エラー
152	除染場所_除染実施日	日付書式エラー

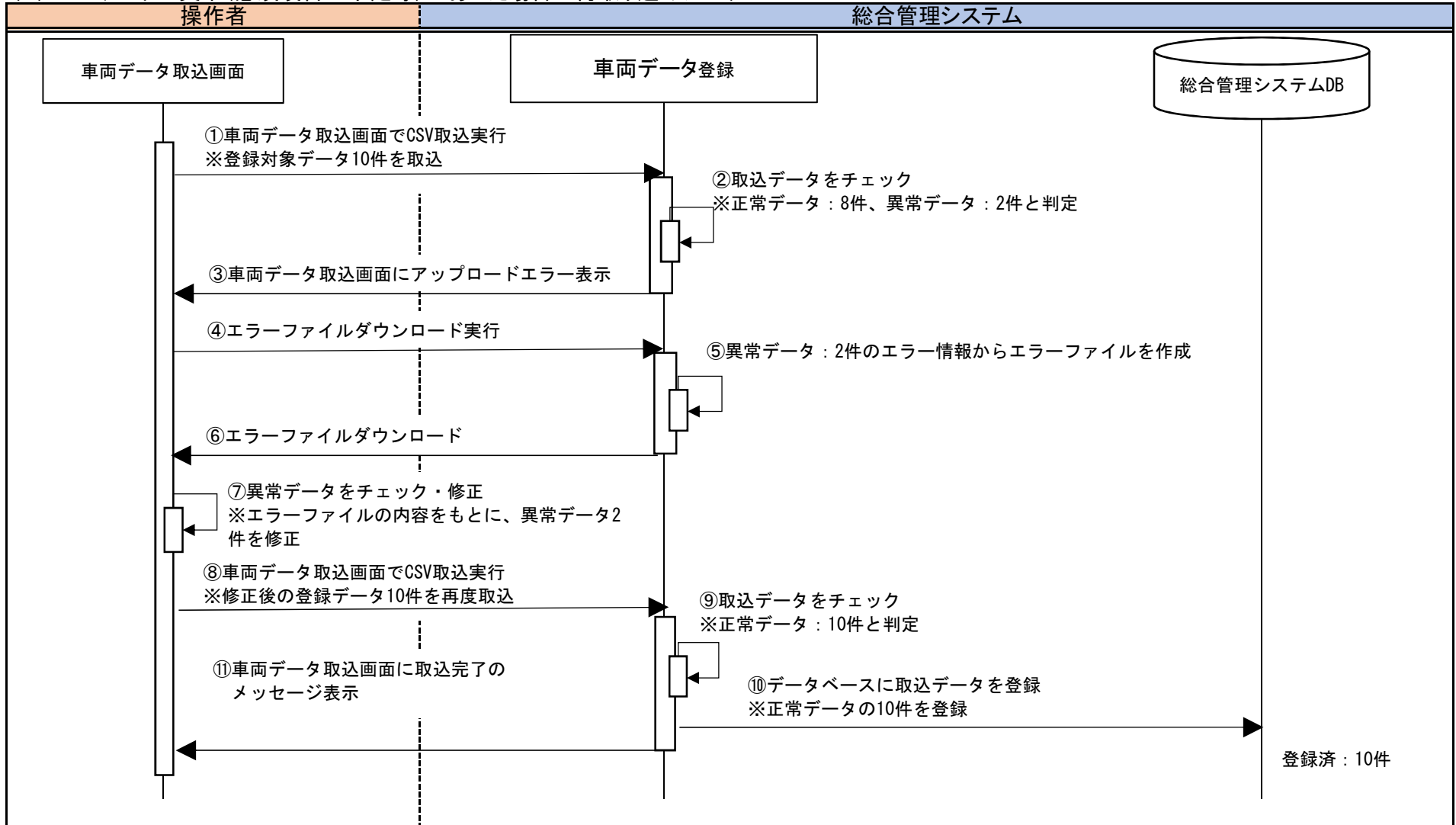
Three red-bordered callout boxes provide additional context:

- Top right: 取込の結果、異常データが存在した場合にメッセージが出力される。 ※正常終了時は、取込完了のメッセージが表示される。
- Middle right: 受信日時をファイル名としたエラーファイルがダウンロードされる。
- Bottom right: 対象のエラー項目とエラー内容が分かるように「行数」「データ名」「エラー内容」を出力する

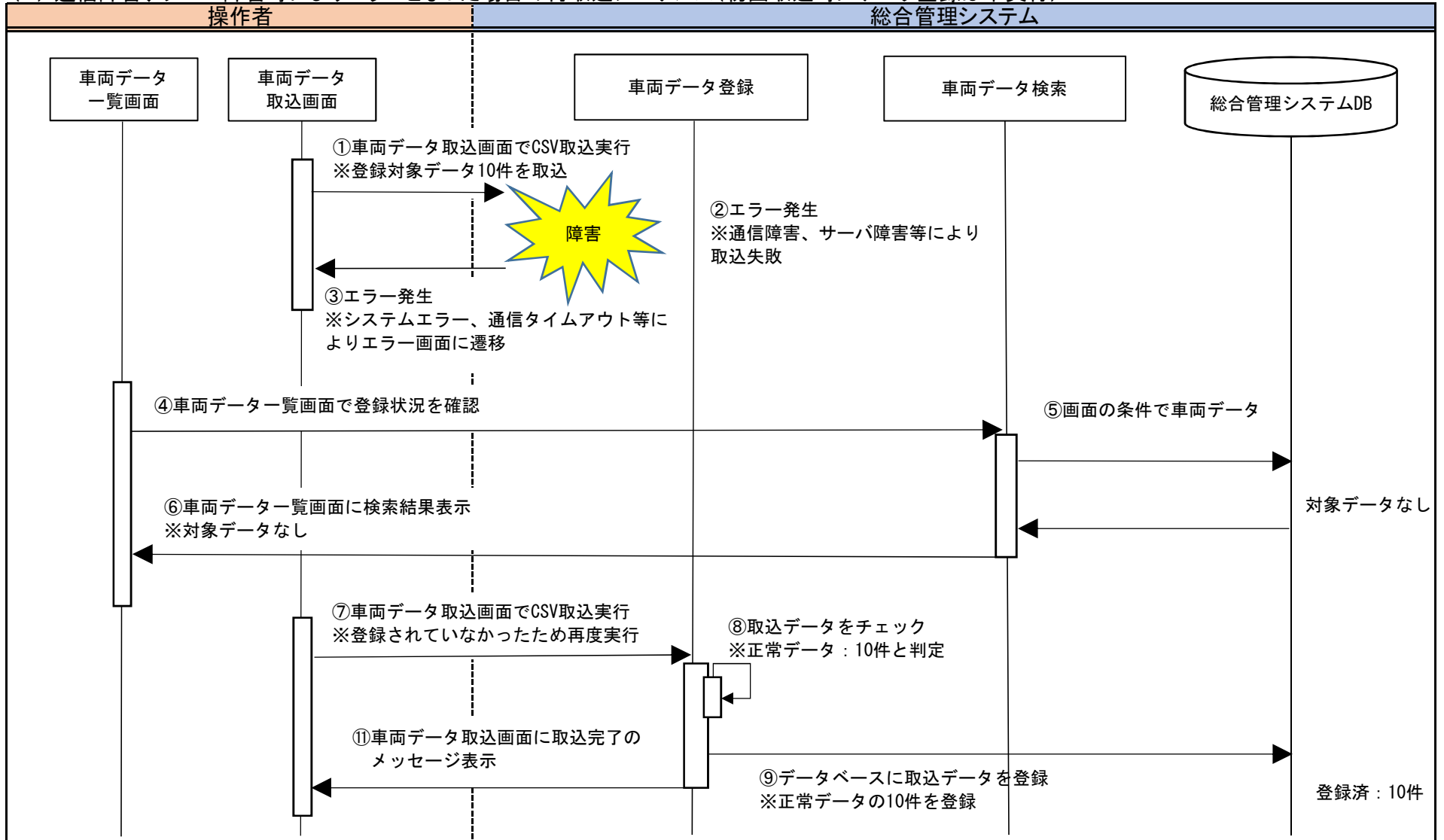
3.7 CSV方式エラーシーケンス

異常データ、通信エラー等によってデータ取込に失敗した場合、操作者が以下のシーケンスに沿って、データの再取り込みを実施いただく。
以下シーケンスにてデータ取込が成功しない場合、運用対応とする。

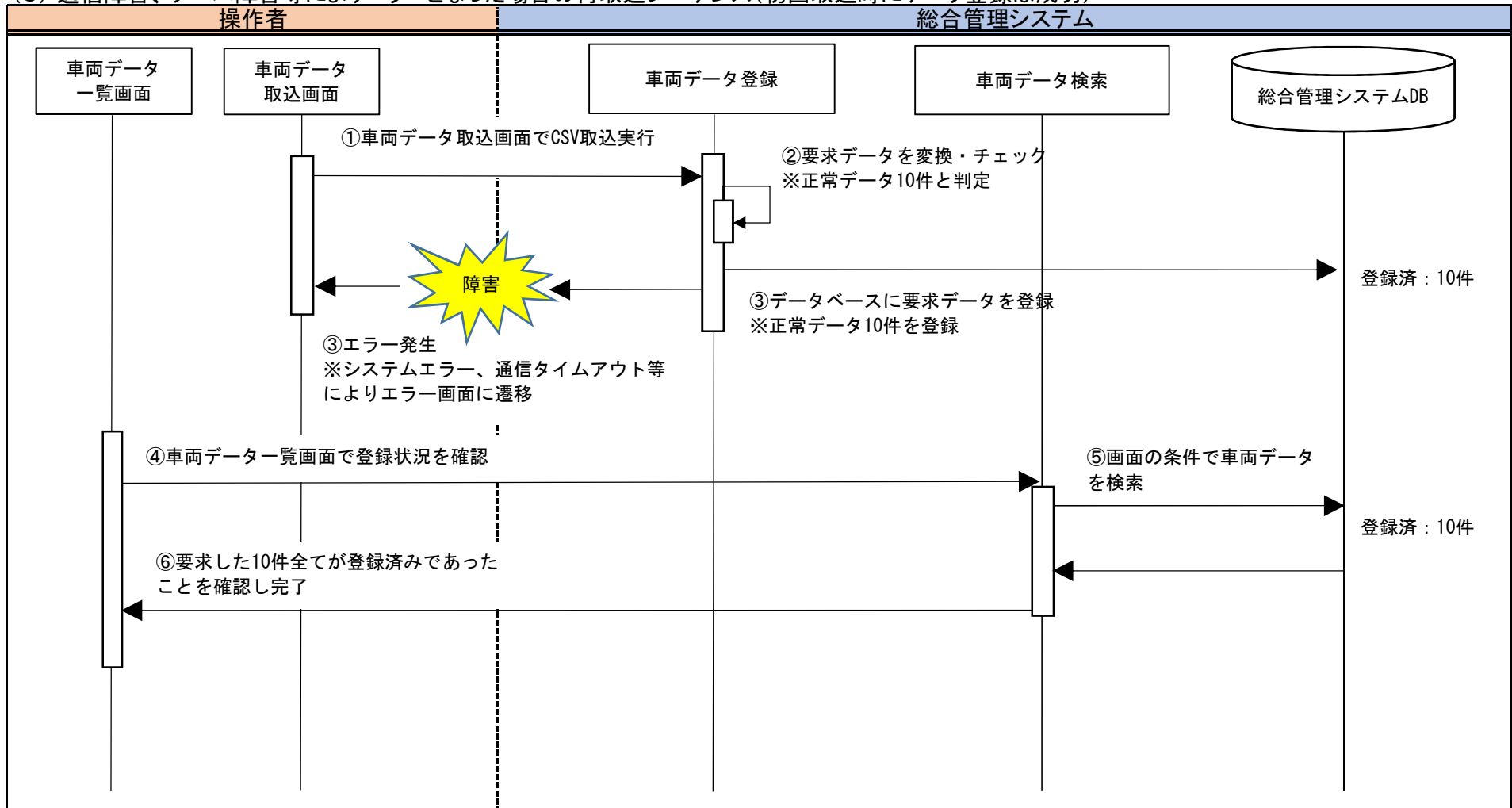
(1) CSVデータに異常(必須項目の不足等)があった場合の再取り込みシーケンス



(2) 通信障害、サーバ障害等によりエラーとなった場合の再取込シーケンス(初回取込時にデータ登録は未実行)



(3) 通信障害、サーバ障害等によりエラーとなった場合の再取込シーケンス(初回取込時にデータ登録は成功)

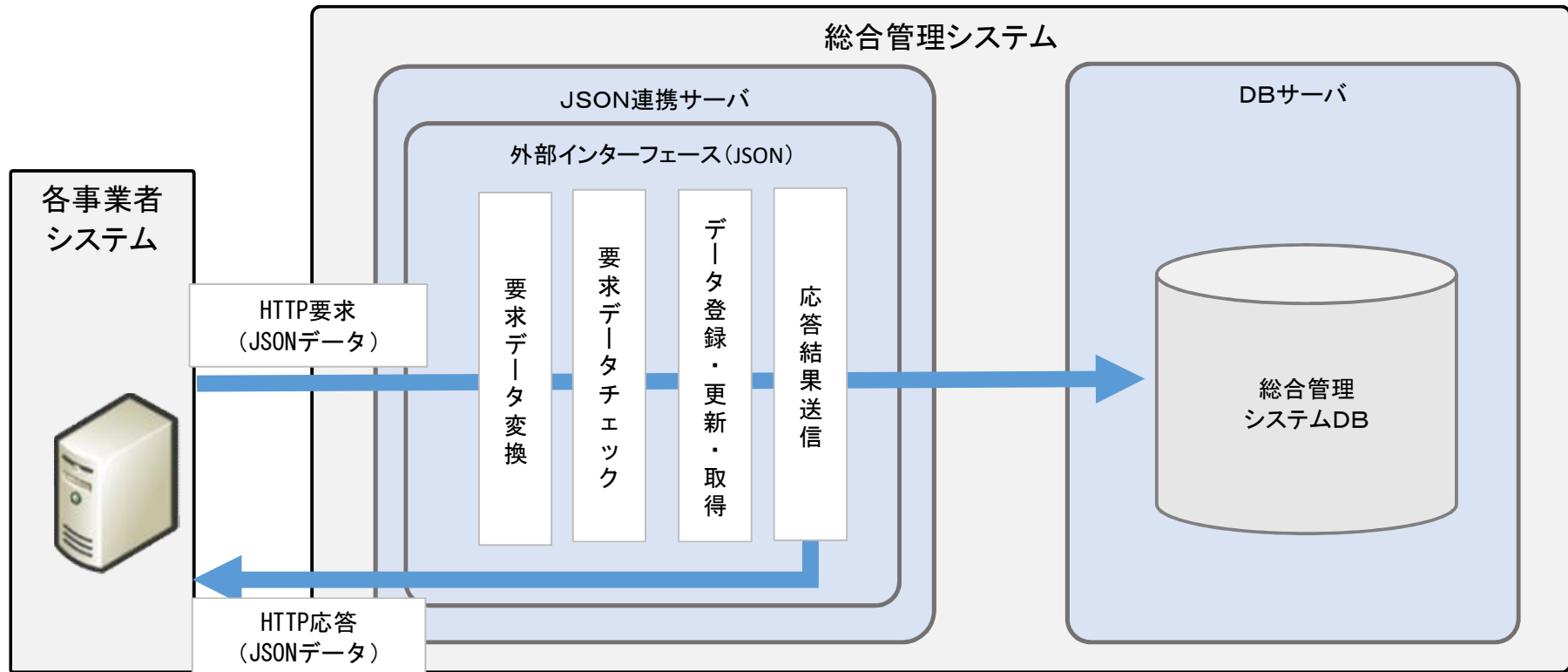


4. JSON方式

4.1 インターフェース概要

各種データをシステム間で自動連携するための機能として、総合管理システムにてJSON連携インターフェースを提供する。本インターフェースでは、連携先の各事業者システムより送信されたデータ登録・更新・取得要求に対し、「要求データ変換」「要求データチェック」「データ登録・更新・取得」「応答結果送信」を行い、要求に対する応答を返却する。

4.2 連携概要図



4.3 インターフェース形式

JSON連携インターフェースにおける要求・応答の形式は以下の通り。

プロトコル	HTTP
HTTPメソッド	POST
文字コード	UTF-8
連携データ形式	JSON
必須リクエストヘッダ	Content-Type: application/json; charset=UTF-8
必須レスポンスヘッダ	Content-Type: application/json; charset=UTF-8

【連携データするJSONデータイメージ】

要求(連携事業者から送信)

```
{"事業者ID":"JV01","明細":[{"送信ID":"AJV201501","車両ID":"A01","位置": "..."}, {"送信ID":"AJV201501","車両ID":"A02","位置": "..."}]}
```

応答(総合管理システムから返却)

```
{"ステータスコード":"00","受信日時":"2015/11/22 13:11:34","連携結果コード":"0","正常件数":"10","異常件数":"0"}
```

※要求のデータ項目のうち非必須項目については、空文字("")またはnullまたは対象タグを削除は可です。

※応答のデータ項目のうち非必須項目については、nullを設定して返却します。

4. 4 処理方針

4. 4. 1 データ登録・更新インターフェース

登録・更新対象のデータを1件毎にチェック(※1)し、正常なデータのみを総合管理システムに反映する。
 チェック結果、異常であったデータについては、登録・更新対象から除外し、応答にて異常データの情報を返却する。
 登録・更新対象のデータには、「送信ID」(※2)および「変更区分」(※3)を付与し、要求を送信する。

例) データが10件連携され、9件が正常データ、1件が異常データであった場合
 正常データ9件 → 登録・更新を行う。
 異常データ1件 → 登録・更新は行わない。

※1 データチェック

要求されたデータについては、「必須チェック」「桁数チェック」「範囲チェック」「書式チェック」「データ状況チェック」の5つの共通チェック処理を行う。その他チェックが必要な場合は、インターフェース毎に独自に実装する。

※2 送信ID

連携先事業者が送信する全データに付与するID。事業者内で一意なIDとする。
 これにより、連携先事業者と総合管理システムのデータ登録状況の突合が可能となり、データの欠損を容易に検知可能となる。
 一度付与された送信IDは、事業者システム側で連携データが更新された場合でも変更されない不変のIDとし、
 データ更新を行う際には、データ登録時と同じ送信IDを付けて連携する。

※総合管理システム側では、「インターフェースID、事業者ID、送信ID」でJSONリクエストの重複や
 妥当性(総合管理システム側に未登録のデータの更新/削除を受け付けられないなど)をチェックする。

※3 変更区分

要求されたデータに対する処理内容を表す以下の区分(「I:新規登録」「U:更新」「D:削除」)。
 要求内容を明確にし、データ不整合が発生している場合に想定外のデータ更新が行われないようにするため指定する。
 「データ状況チェック」にて、要求された連携区分と、総合管理システム側のデータ状況に不整合が発生していないかを確認し、
 以下の通り制御する。

- (1) 変更区分「I」で要求されたが、既に同じ送信IDのデータが登録済みである場合
 データの登録処理は行わず、異常データとして応答にて通知する。
 ※送信IDが新規のIDの場合でも、連携データ(新タグIDや輸送カード番号など)が総合管理システム側に登録済みの場合、
 データの登録処理は行わず、異常データとして応答にて通知する。
- (2) 変更区分「U」で要求されたが、同じ送信IDのデータが登録されていない場合
 データの更新処理は行わず、異常データとして応答にて通知する。
 ※総合管理システム側に登録済みのデータの更新を要求する場合、登録時のJSONデータの変更区分を「U」に変更し、
 更新対象の項目の値を変更したJSONデータを送信する。
- (3) 変更区分「D」で要求されたが、同じ送信IDのデータが登録されていない場合
 データの削除処理は行わず、異常データとして応答にて通知する。
 ※総合管理システム側に登録済みのデータの削除を要求する場合、登録時のJSONデータの変更区分を「D」に変更した
 JSONデータを送信する。

4. 4. 2 データ参照インターフェース

総合管理システム側に登録されているデータを取得する要求を受け付け、対応するデータを抽出し、応答情報として返却する。
要求された条件に一致するデータが存在しない場合でもインターフェース処理は異常終了とせず、
応答情報にてデータが存在しない旨、返却する。

4. 5 異常データおよびエラー発生時の再送

4. 5. 1 異常データの再送について

連携インターフェースの応答にて、異常データ有りが返却された場合、
連携事業者側で、連携インターフェースの応答より異常データの内容を確認し、
データ修正後、対象データのみを再送する。

4. 5. 2 エラー発生時の再送について

ネットワーク異常、サーバ障害等により、連携インターフェースの応答が受け取れなかった場合や応答内容が異常終了であった場合、
障害復旧後、連携事業者よりエラー発生時と同様のデータにて、連携インターフェースに要求を再送する。

※ 総合管理システム側に登録済みのデータが再送された場合でも、
「送信ID」による重複チェックを行うため、重複登録は発生しない。

4. 6 処理実行結果履歴

外部インターフェース(JSON)への要求があった場合、以下の情報を履歴として保存し、処理実行結果一覧画面から確認可能とする。

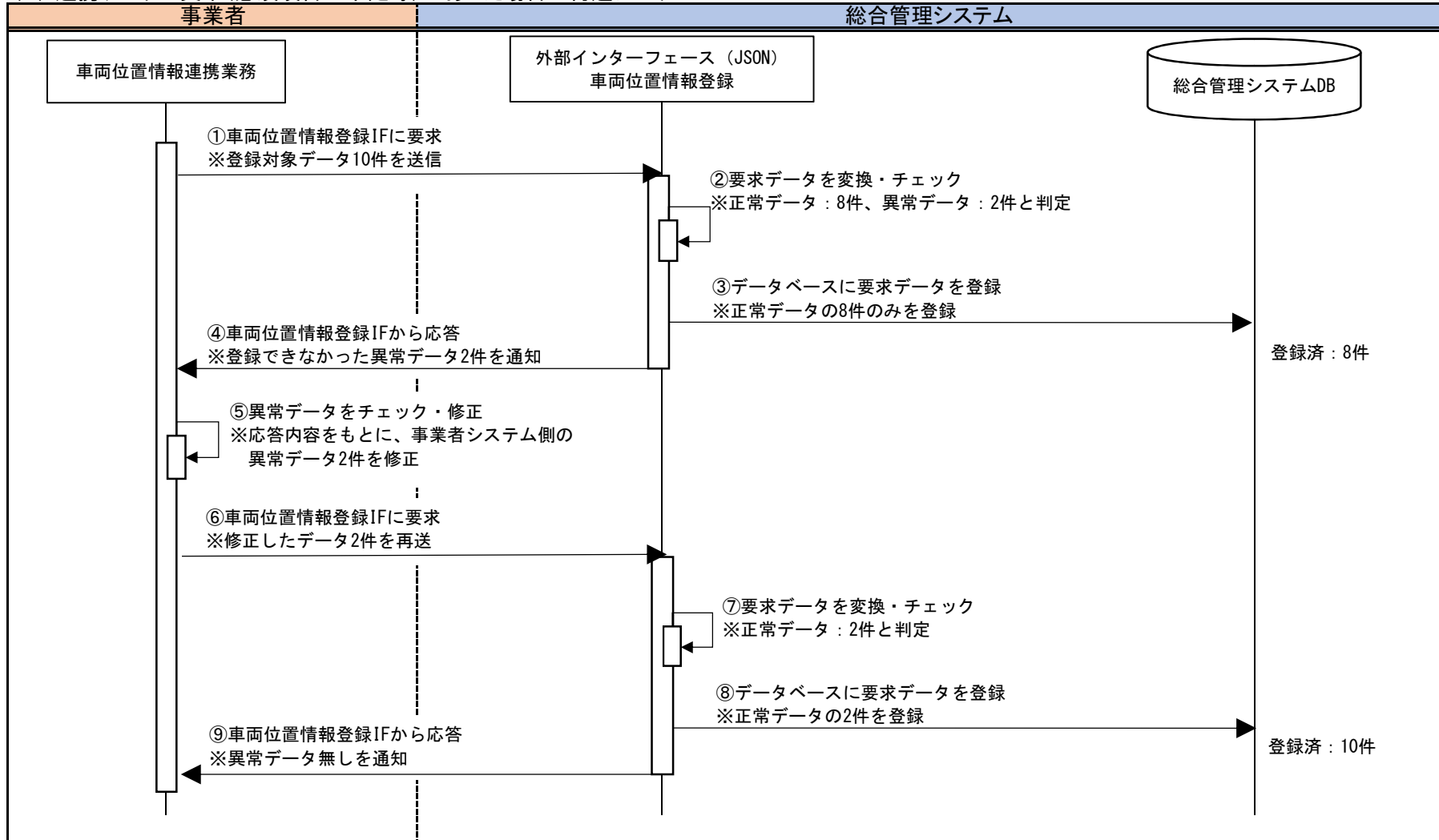
- ・連携先事業者情報
- ・要求されたインターフェース情報
- ・連携データの受信日時
- ・異常データ有無
- ・インターフェースの処理ステータス(正常終了/異常終了)

※ データベース障害により異常終了となった場合は、データベースへの履歴保存は行わずログ出力のみ行う。
この場合、処理実行結果一覧画面上は異常終了を検知出来なくなるが、エラーログの監視にてインターフェースの
異常を検知可能とする。

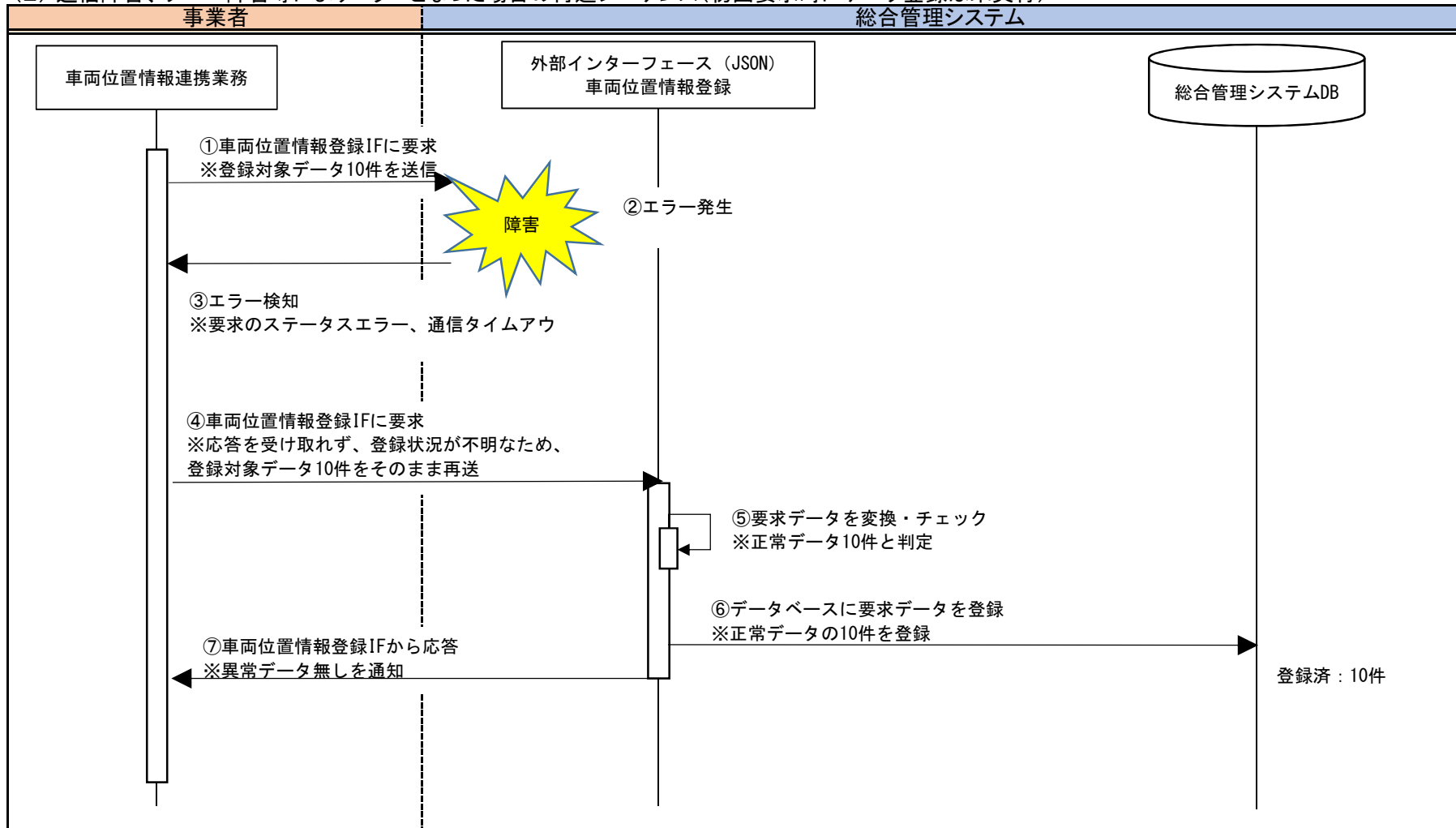
4. 7 JSON方式エラーシーケンス

異常データ、通信エラー等によって外部インターフェースのデータ連携に失敗した場合、連携事業者側で、以下のシーケンスに沿ってデータの再送を実施いただく。以下シーケンスにてデータ連携が成功しない場合、総合管理システム側の運用にて対応とする。

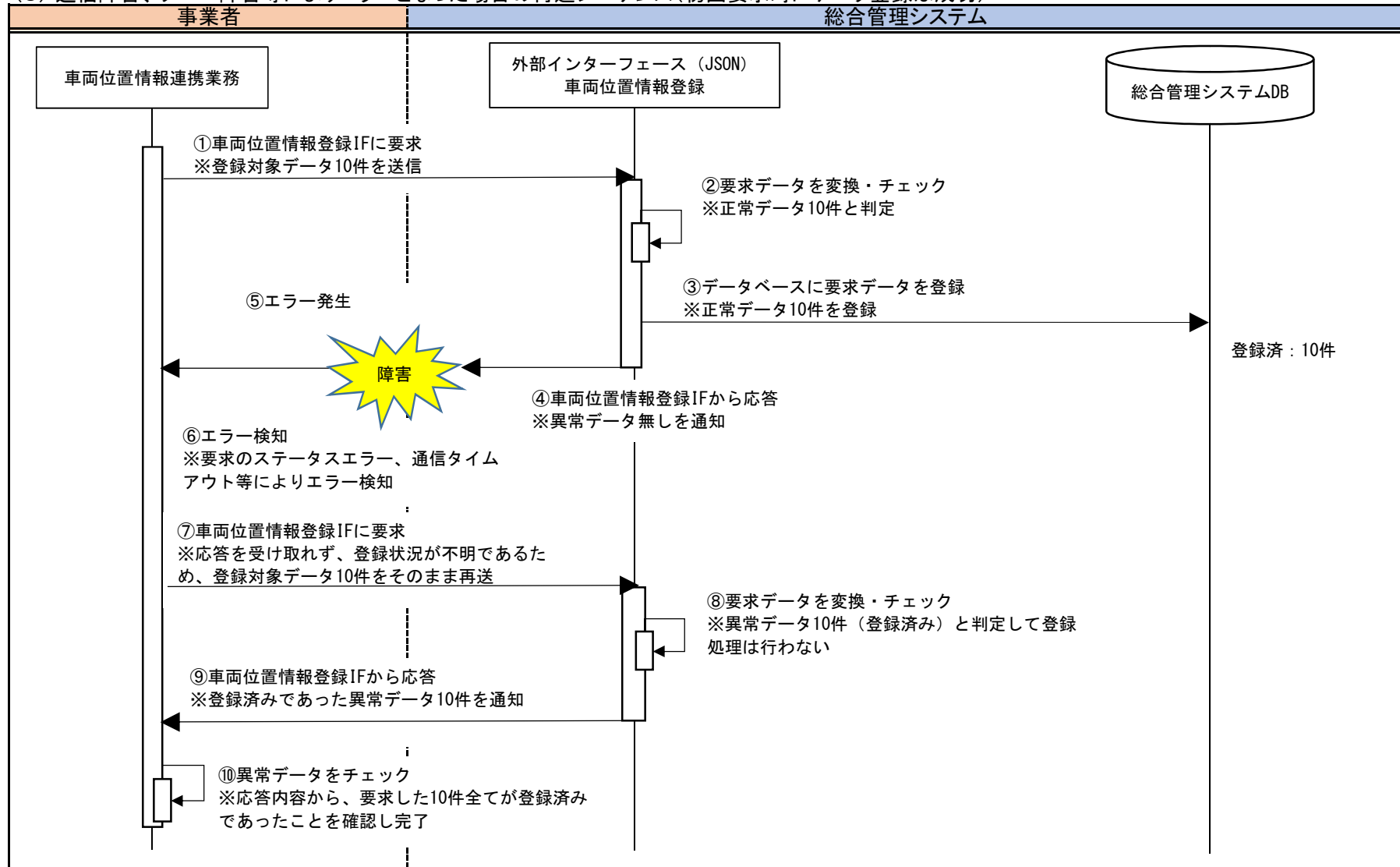
(1) 連携データに異常(必須項目の不足等)があった場合の再送シーケンス



(2) 通信障害、サーバ障害等によりエラーとなった場合の再送シーケンス(初回要求時にデータ登録は未実行)



(3) 通信障害、サーバ障害等によりエラーとなった場合の再送シーケンス(初回要求時にデータ登録は成功)



別添 1_別紙 3 輸送カード様式の説明 (除去土壌等)

輸送カードの様式は下記の通りとする。

用紙サイズ・向きはA4縦とする。

11袋以上輸送する場合は、「別添 1_別紙 3 輸送カード様式の説明 (除去土壌等) (20袋の輸送の場合)」をご参照のうえ、A4縦1枚で、20袋分の情報が収まるよう、レイアウトを調整してください。

20袋対応可能なレイアウトを採用される場合は、10袋以下の輸送時も同一のレイアウトで構いません。

- 1) 輸送カード番号、輸送JV
 - 輸送カードを識別する事業者内での一意の番号
 - 輸送事業者を特定する事業者ID
 - QRコードの様式は、「QRコードの様式」を参照
- 2) 区分
 - 輸送する大型土のう袋等の内容物が不燃物か可燃物
 - 特定施設の有無を表す
- 3) 仮置場
 - 輸送する大型土のう袋等の内容物の搬出元である仮置場名称と仮置場のある市町村名称
 - 仮置場の情報は、総合管理システムから取得する
- 4) 輸送車両
 - 車両番号は、車検証の車両番号
 - 車種は、10tダンプなど積載量が分かる表記とする
 - 積載可能重量は、車検証に記載されている積載可能重量、車検証に記載されている車両重量、実測した空車時重量を使った下記数式で算出する
 - 積載可能重量を算出する数式
空車重量が車両重量[車検証記載]以下の場合：
最大積載量[車検証記載]
その他の場合：
最大積載量[車検証記載] - (空車重量 - 車両重量[車検証記載])
- 5) 施設到着予定日時
 - 搬出先への到着予定日時
- 6) 容器番号
 - 輸送する大型土のう袋等の内容物に取り付けた新タグのID
- 7) 輸送車両重量
 - 空車時に実測した重量
 - みなし総重量は、空車時重量と搬出時重量の合計となる
- 8) 容器種類別数
 - 輸送する大型土のう袋等の内容物の種類別の数量(新タグの数)
 - ※特定施設の袋数は合計数に対する内訳袋数を記載
- 参考) 受入時重量(kg)、重量チェック欄
※2018年4月1日以降は、未使用になるため、削除する

輸 送 カ ー ド

輸送カード番号: d123456789012d 輸送JV: J20170001

区 分	不燃物	可燃物
	特定施設	有・無

市町村名 ○○町○○1234
 仮置場名称 □□□
 車両番号 △△ 800 あ 12-34
 車 種 10tダンプ
 積載可能重量 ○○ kg

施設到着予定日時 ○○○○年○○月○○日○○時○○分

整理番号 ○○ : △△△△△△△△
 行き先 △△△受入・分別施設

事業者名 ●●JV
 事業者連絡先 024-XXX-XXXX

搬出日時 年 月 日 時 分
 運転手名 ▲▲ ▲▲

搬出責任者名

前	後	左	右

① 番号	② 容器番号		③ 分類	④ 搬出時線量率 (μSv/h)	⑤ 搬出時重量 (kg)	⑥ 推定放射能濃度 (Bq/kg)
	チェック欄	チェック欄				
1	a300000000000001a		白色：土壌等	0.70	1,143	7,300
2	a300000000000002a		白色：土壌等	0.09	890	1,200
3	a300000000000003a		白色：土壌等	1.80	1,104	20,000
4	a400000000000004a		青色：その他不燃物	0.47	1,110	5,100
5	a400000000000005a		青色：その他不燃物	1.06	1,112	11,000
6	a400000000000006a		青色：その他不燃物	0.16	1,264	1,500
7						
8						
9						
10						
計					6,623	

空車時重量 (kg)		みなし総重量 (kg)		重量確認	OK NG
------------	--	-------------	--	------	-------

数量	種 類	数量(袋)	チェック欄	【荷下時確認記録】
	可 燃	0		荷下担当者名:
	不 燃	6		確認日時: 年 月 日 時 分
	うち特定施設	0		
合計		6		

中間貯蔵施設退場時スクリーニング	対象	チェック欄	【スクリーニング時確認記録】
	車		線量測定者名:
	人		確認日時: 年 月 日 時 分

洗 車	対象	チェック欄	【洗車時確認記録】
	車		洗車担当者名:
			確認日時: 年 月 日 時 分

シャワー	対象	チェック欄	【シャワー時確認記録】
	人		確認者名:
			確認日時: 年 月 日 時 分

備 考	
-----	--

- 9) 整理番号
 - 本輸送カードを印刷する単位で番号を採番する
- 10) 行き先
 - 輸送する大型土のう袋等の内容物の搬出先である行き先の名称
 - 行き先の情報は、総合管理システムから取得し、保管場、受入・分別施設の名称を表示する
保管場名+"": "+受入・分別施設名
- 11) 事業者情報
 - 本輸送を担当している事業者名称とその連絡先
- 12) 運転手名
 - 本輸送車両を運転する担当者名称
- 13) 荷台の中心位置 (前後左右)の放射線量率
 - 荷台の中心位置 (前後左右)の放射線量率は、輸送する大型土のう袋等の内容物の搬出時線量率が30μSv/hを超えた場合に必要となる
※車両周り1m (前後左右)の放射線量率は、2018年4月1日以降は、未使用になるため、削除する
- 14) 搬出時線量率、搬出時重量、推定放射能濃度
 - 輸送車両に大型土のう袋等の内容物を積み込む際に計測した、各大型土のう袋等の内容物の線量率、重量、推定放射能濃度の測定結果
 - 重量についてのみ、各大型土のう袋等の内容物の重量を合計する
 - 推定放射能濃度を算出する数式
= 搬出時線量率 × 係数 ÷ 搬出時重量
(係数は毎年変動する可能性あり。次年度分は決定次第通知)
- 15) 分類
 - 大型土のう袋等の内容物の分類は、下記の通りとする
 - 分類により区分とセル背景色、文字色が決まる

緑色：腐敗性可燃物 ⇒ 可燃物
 ※セル背景色RGB (0,255,0) 文字色RGB (0,0,0)
 黄色：その他可燃物 ⇒ 可燃物
 ※セル背景色RGB (255,255,0) 文字色RGB (0,0,0)
 白色：土壌等 ⇒ 不燃物
 ※セル背景色RGB (255,255,255) 文字色RGB (0,0,0)
 青色：その他不燃物 ⇒ 不燃物
 ※セル背景色RGB (0,0,255) 文字色RGB (255,255,255)
 赤色：危険物 ⇒ 有害物質 (不燃物)
 ※セル背景色RGB (255,0,0) 文字色RGB (255,255,255)
 橙色：土壌等 (特定施設) ⇒ 有害物質
 ※セル背景色RGB (255,127,0) 文字色RGB (255,255,255)
 ※可燃/不燃の区分は内容物の性状による

別添1_別紙3 輸送カード様式の説明（除去土壌等）（20袋の輸送の場合）

輸送カードの様式は下記の通りとする。

用紙サイズ・向きはA4縦とする。

こちらのレイアウトで10袋以下の輸送を実施していただいても構いません。

①		②		③		④	⑤	⑥
番号	容器番号	分類	搬出時線量率		搬出時重量 (kg)	推定放射能濃度 (Bq/kg)		
			搬出時線量率 (μ Sv/h)	搬出時重量 (kg)			搬出時線量率 (μ Sv/h)	搬出時重量 (kg)
1	a3000000000000001a	白色：土壌等	0.70	1.143	7.300			
2	a3000000000000002a	白色：土壌等	0.09	890	1.200			
3	a3000000000000003a	白色：土壌等	1.80	1.104	20.000			
4	a4000000000000004a	青色：その他不燃物	0.47	1.110	5.100			
5	a4000000000000005a	青色：その他不燃物	1.06	1.112	11.000			
6	a4000000000000006a	青色：その他不燃物	0.16	1.264	1.500			
7								
8								
9								
10								
11								
12								
13								
14								
15								
16								
17								
18								
19								
20								
計		—	—	—	—	6.623	—	—
空車時重量 (kg)		みなし総重量 (kg)		重量確認		OK	NG	
数量	種類	数量(袋)	チェック欄	【荷下時確認記録】 荷下担当者名： _____ 確認日時： _____年 月 日 時 分				
	可燃	0						
	不燃	6						
	うち特定施設	0						
	合計	6						
中間貯蔵施設退場時 スクリーニング		対象	チェック欄	【スクリーニング時確認記録】 線量測定者名： _____ 確認日時： _____年 月 日 時 分				
	車							
	人							
洗車		対象	チェック欄	【洗車時確認記録】 洗車担当者名： _____ 確認日時： _____年 月 日 時 分				
	車							
シャワー		対象	チェック欄	【シャワー時確認記録】 確認者名： _____ 確認日時： _____年 月 日 時 分				
	人							
備考								



輸 送 カ ー ド

整理番号

〇〇：△△△△△△△

輸送カード番号：d123456789012d 輸送JV：J20170001

行き先 △△△受入・分別施設

区 分	不燃物	可燃物
	特定施設	有・無

事業者名 ●●JV

事業者連絡先 024-XXX-XXXX

市町村名 〇〇町〇〇1234

搬出日時 年 月 日 時 分

仮置場名称 □□□

運転手名 ▲▲ ▲▲

車両番号 △△ 800 あ 12-34

搬出責任者名

車 種 10tダンプ

積載可能重量 〇〇 kg

荷台各面の
中心位置
放射線量率
(μ Sv/h)

施設到着予定日時 〇〇〇〇年〇〇月〇〇日〇〇時〇〇分

前	後	左	右

①	②	③	④	⑤	⑥	
番号	容器番号	分類	搬出時線量率		搬出時重量 (kg)	推定放射能濃度 (Bq/kg)
			搬出時線量率 (μ Sv/h)	搬出時重量 (kg)		
	チェック欄	チェック欄	(μ Sv/h)	(kg)	(Bq/kg)	
1	a3000000000000001a	白色：土壌等	0.70	1.143	7.300	
2	a3000000000000002a	白色：土壌等	0.09	890	1.200	
3	a3000000000000003a	白色：土壌等	1.80	1.104	20.000	
4	a4000000000000004a	青色：その他不燃物	0.47	1.110	5.100	
5	a4000000000000005a	青色：その他不燃物	1.06	1.112	11.000	
6	a4000000000000006a	青色：その他不燃物	0.16	1.264	1.500	
7						
8						
9						
10						
11						
12						
13						
14						
15						
16						
17						
18						
19						
20						
計		—	—	—	6.623	—

空車時重量 (kg) 重量確認 OK NG

数量	種類	数量(袋)	チェック欄	【荷下時確認記録】 荷下担当者名： _____ 確認日時： _____年 月 日 時 分				
	可燃	0						
	不燃	6						
	うち特定施設	0						
	合計	6						
中間貯蔵施設退場時 スクリーニング		対象	チェック欄	【スクリーニング時確認記録】 線量測定者名： _____ 確認日時： _____年 月 日 時 分				
	車							
	人							
洗車		対象	チェック欄	【洗車時確認記録】 洗車担当者名： _____ 確認日時： _____年 月 日 時 分				
	車							
シャワー		対象	チェック欄	【シャワー時確認記録】 確認者名： _____ 確認日時： _____年 月 日 時 分				
	人							
備考								

輸送カード出力項目とインターフェース項目との対応表

輸送カードの項目と総合管理システムと連携するインターフェースとの対応は下記の通りとする。

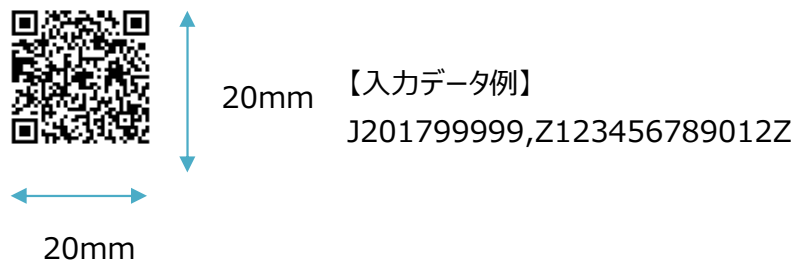
項番	輸送カード項目名	インターフェースID	インターフェース名	データ項目	補足
1)	輸送カード番号	IFT0130	輸送カード申請	輸送カード番号	
	輸送JV	IFT0130	輸送カード申請	事業者ID	
2)	区分	不燃物・可燃物	IFT0130	輸送カード申請	物品種類
		特定施設 有・無	IFT0130	輸送カード申請	有害物質
3)	仮置場	市町村名	IFT0320	仮置場マスタ出力	市区町村名（漢字） + 仮置場住所（その他住所） 市区町村名（漢字）は仮置場住所（市区町村コード）をもとに取得（全国地方公共団体コード）
		仮置場名称	IFT0320	仮置場マスタ出力	仮置場名称
4)	輸送車両	車両番号	IFT0020	車両データ取込	車両ナンバー
		車種	IFT0020	車両データ取込	車種
		積載可能重量	-	-	-
5)	施設到着予定日時	IFT0130	輸送カード申請	保管場到着予定日時	
6)	容器番号	IFT0130	輸送カード申請	新タグID	
7)	輸送車両重量	空車時重量	IFT0020	車両データ取込	空車重量
		みなし総重量	-	-	-
8)	容器種類別数	-	-	-	新タグIDをもとに新タグ紐付データから分類を取得 15)の例に従い、種類毎に集計する
9)	整理番号	-	-	-	連携しない項目
1 0)	行き先	IFT0340	保管場マスタ出力	保管場名称	保管場名称 + " : " + 定置場名称を表示する 表示する名称が10文字以下の場合、そのまま一行で表示し、11文字以上の場合、改行して表示する
		IFT0360	定置場マスタ出力	定置場名称	
1 1)	事業者情報	事業者名	-	-	指定される事業者IDに紐付く事業者名を使用する
		事業者連絡先	-	-	指定される事業者IDに紐付く事業者連絡先を使用する
1 2)	運転手名	IFT0300	運転手マスタ取込	運転手名	
1 3)	荷台の中心位置（前後左右）の放射線量率	IFT0130	輸送カード申請	荷台高さの放射線量：（前後左右）	※車両周り1m放射線量率は、2018年4月1日以降は未使用になるため、削除する
1 4)	搬出時線量率、搬出時重量、推定放射能濃度	搬出時線量率	IFT0090	新タグ紐付データ取込	搬出時大型土のう袋等線量
		搬出時重量	IFT0090	新タグ紐付データ取込	搬出時大型土のう袋等重量
		推定放射能濃度	-	-	-
1 5)	分類	IFT0090	新タグ紐付データ取込	除去土壌等種別	前ページの例に従い、色を付与

別紙3 輸送カード様式


QRコードの仕様

QRコード仕様は下記の通りとする

QRコード仕様	Model2、Version5、LevelH
サイズ	縦 20mm 横 20mm
セル色	黒色（背景色は白色）
データフォーマット	輸送事業者ID + デリミタ (",") + 輸送カード番号 輸送事業者ID、輸送カード番号の前後空白文字は取り除く
印字場所	輸送カードの左上余白



QRコードの周囲は、4セル以上の余白を設けること

	輸 送 卡 ー ド		整理番号
	輸送カード番号:d1 23456789012d 輸送JV: J20170001		行き先
区 分	不燃物	可燃物	事業者名
	特定施設	有・無	事業者連絡先

改訂履歴

No.	改訂日	分類	資料	項目番号	改訂内容
1	2019年 4月25日	変更	別紙2 インターフェース仕様書	2. インターフェース詳細 IFT0120 車両ステータス更新(受入分別施設搬入または一時保管場定置の場合)	一時保管場の輻輳方針決定に伴い、下記の記載を変更 ・輸送ステータスの記載を変更。 旧:14.施設受入 15.施設受入(輻輳) 新:14.施設受入(輻輳無)／一時保管場荷下ろし(輻輳無) 15.施設受入(輻輳有)／一時保管場荷下ろし(輻輳有)
2	4月25日	変更	別紙2 インターフェース仕様書	2. インターフェース詳細 コード仕様(トレーサビリティ)	一時保管場の輻輳方針決定に伴い、下記の記載を変更 ・CT0014 コード値の修正 旧:14.施設受入／一時保管場荷下ろし 15.施設受入(輻輳) 新:14.施設受入(輻輳無)／一時保管場荷下ろし(輻輳無) 15.施設受入(輻輳有)／一時保管場荷下ろし(輻輳有) ・CT0014 備考欄の修正 旧:14.受入分別施設搬入または一時保管場荷下ろしの場合に、本コードを使用する。 15.受入分別施設搬入(輻輳)の場合に、本コードを使用する。 新:14.受入分別施設搬入(輻輳輸送ではない)または一時保管場荷下ろし(輻輳輸送ではない)の場合に、 本コードを使用する。 15.受入分別施設搬入(輻輳)または一時保管場荷下ろし(輻輳)の場合に、本コードを使用する。
3	5月14日	変更	別紙2 インターフェース仕様書	2. インターフェース詳細 IFT0140 定置ステータス更新	一時保管場の輻輳方針決定に伴い、下記の記載を変更 ・定置場IDの項のダミーの定置情報を送信する条件に、受入・分別施設に加えて一時保管場への搬入を追記。
4	2020年 3月23日	変更	別紙2 インターフェース仕様書	2. インターフェース詳細 IFT0140 定置ステータス更新	チェック内容の記載を詳細化
5	2023年 1月27日	変更	総合管理システムとの連携に関する要件	4. 9 事業者システムと総合管理システムとの接続仕様	バックアップ環境に関する記載を削除
6	1月27日	変更	総合管理システムとの連携に関する要件	4. 13 システム運用に関する要件	b) ヘルプデスク業務の対応時間を土曜日及び日曜日を除く月曜日から金曜日(祝日を含む)に変更